

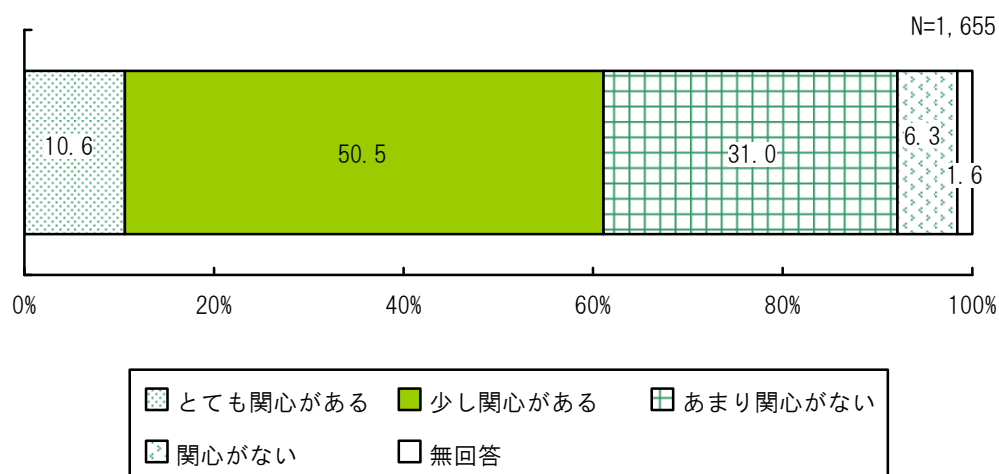
IV 調查結果

IV 調査結果

「市民活動について」

(1) 市民活動への関心

問1 あなたは、地域活動やボランティア活動などの市民活動にどの程度関心がありますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。



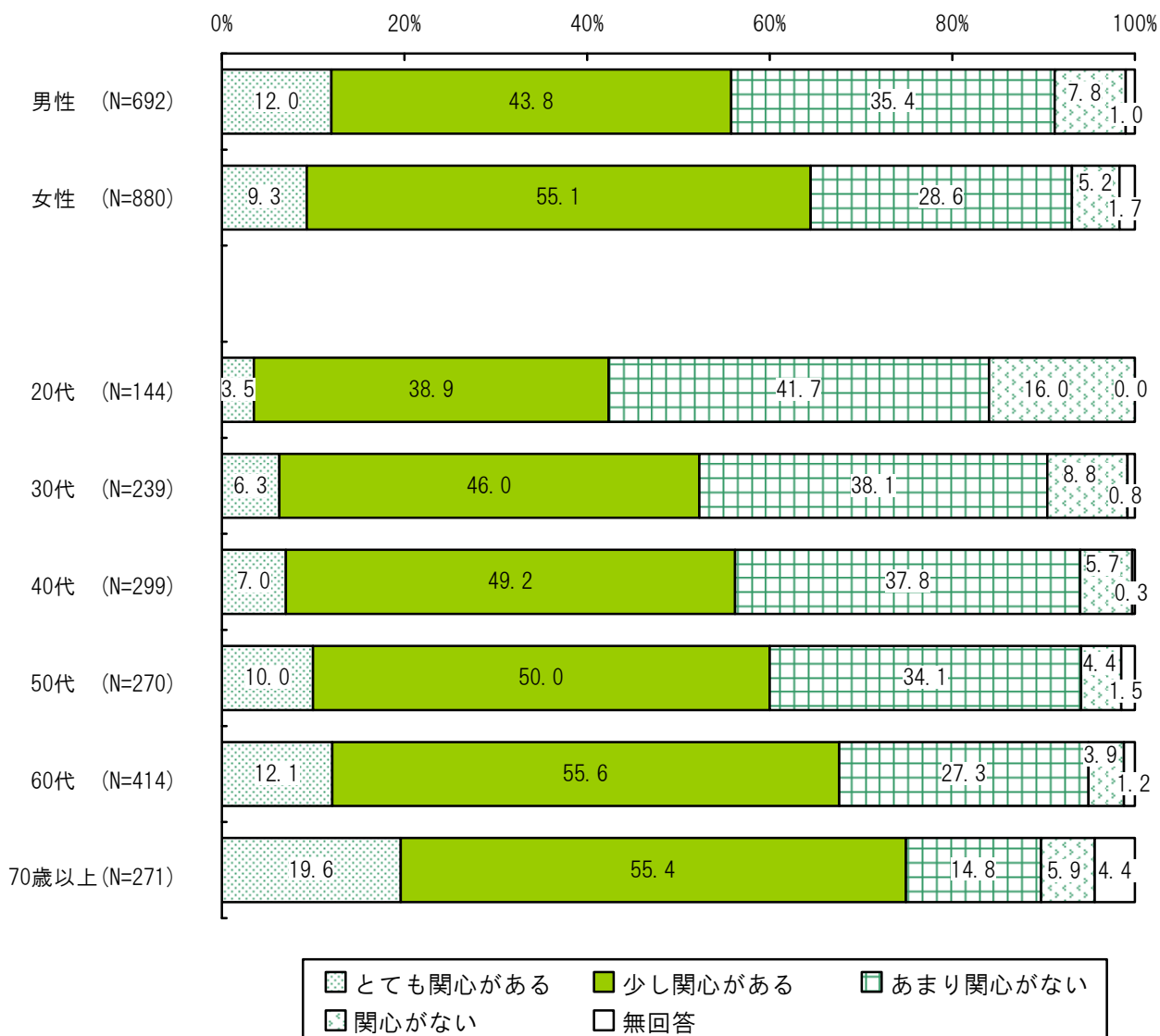
地域活動やボランティア活動などの市民活動への関心を尋ねたところ、「少し関心がある」が50.5%と最も高く、次いで「あまり関心がない」の31.0%となっている。『関心がある』（「とても関心がある」＋「少し関心がある」）は61.1%で約6割、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「関心がない」）は37.3%となっている。

性別に見ると、『関心がある』は女性で64.4%と、男性の55.8%を8.6ポイント上回っている。

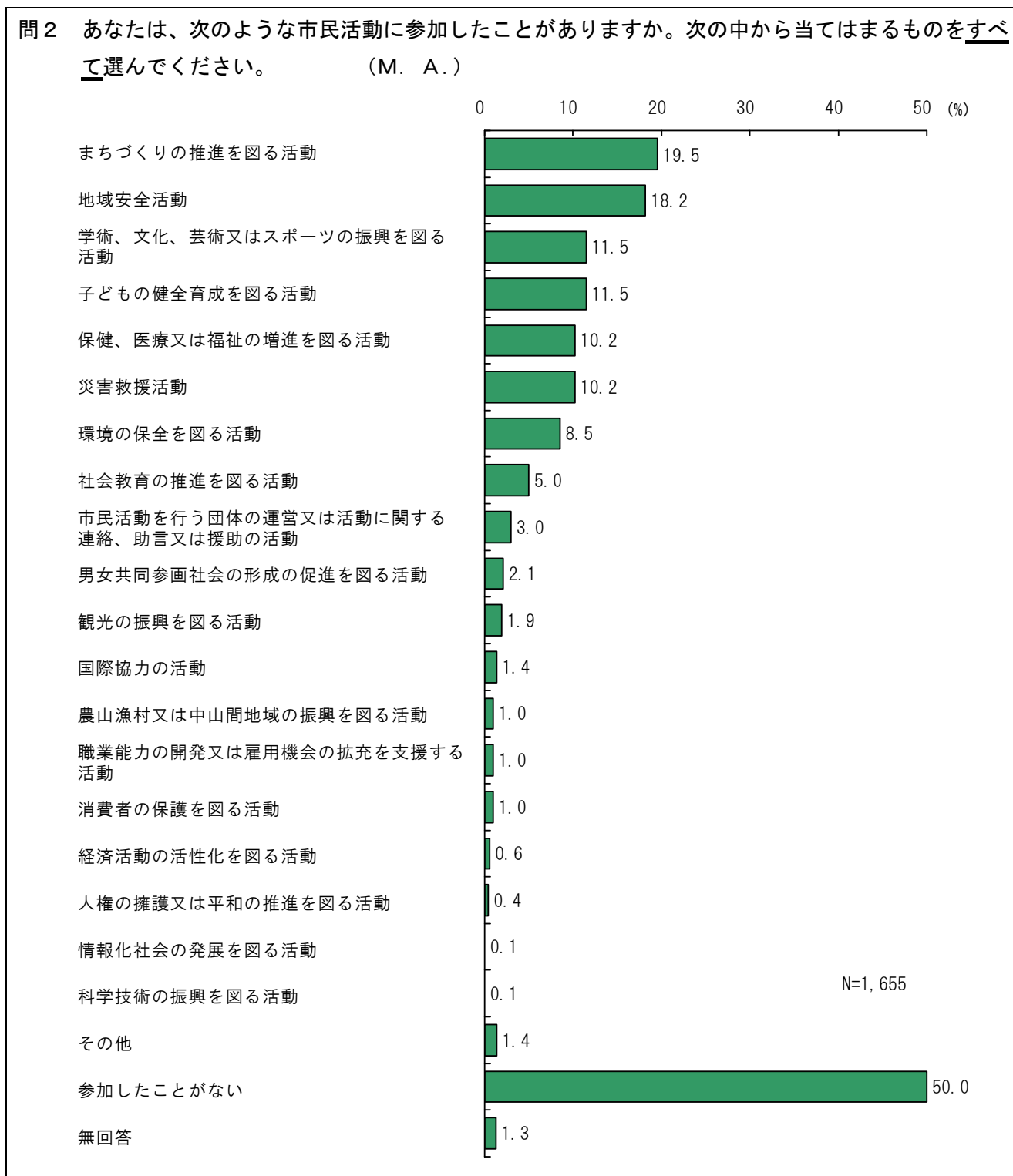
年代別に見ると、20代で『関心がない』が57.7%と高くなっている。また、「とても関心がある」は20代で3.5%と低く、年代が上がるにつれて高くなっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



(2) 市民活動参加の有無

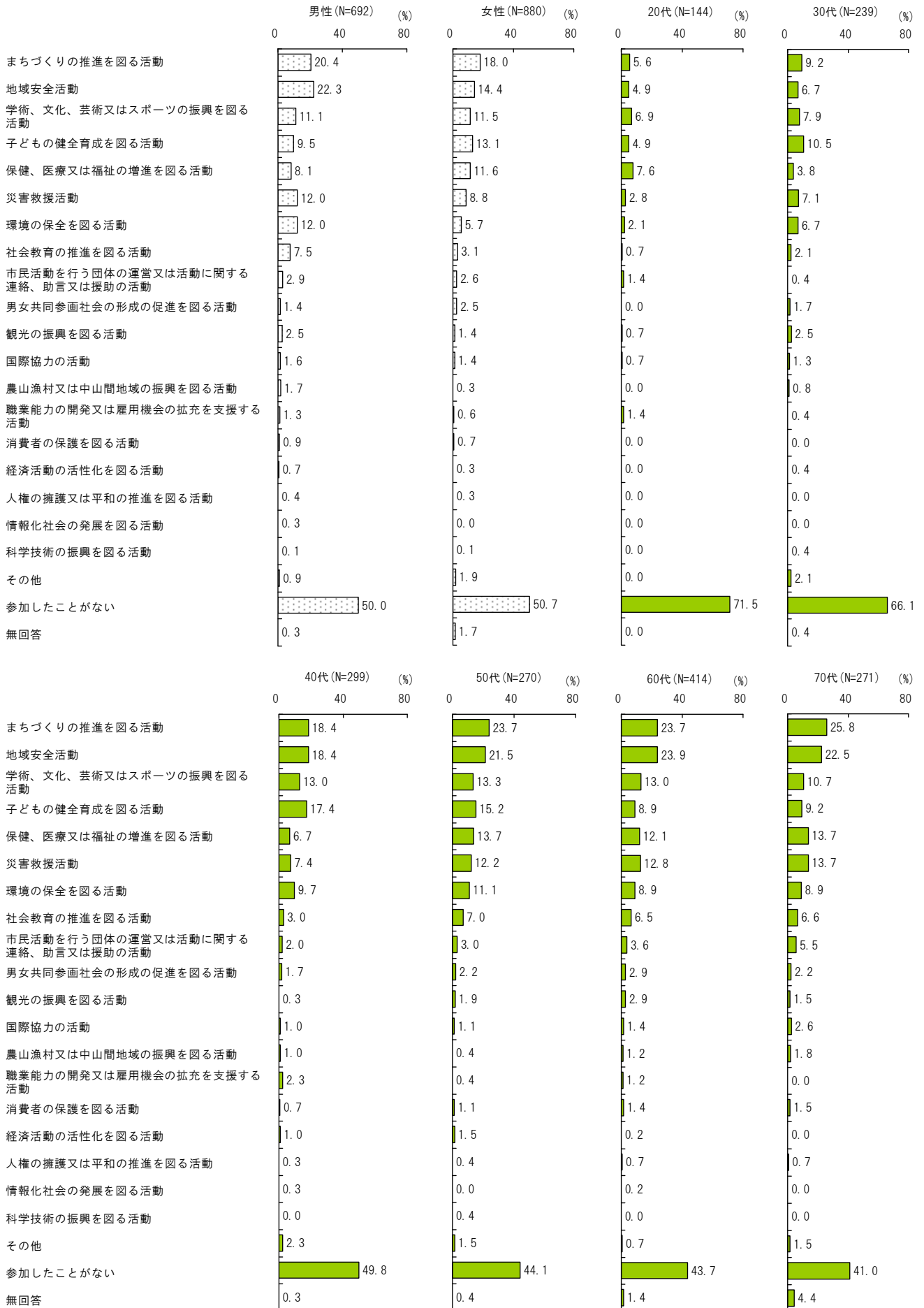


参加したことがある市民活動を尋ねたところ、「まちづくりの推進を図る活動」が19.5%と最も高く、次いで「地域安全活動」が18.2%、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」、「子どもの健全育成を図る活動」がそれぞれ11.5%となっている。また、「参加したことがない」が50.0%で半数を占めている。

性別に見ると、「地域安全活動」が男性で22.3%と、女性の14.4%を約8ポイント上回っている。年代別に見ると、20代および30代で参加経験が少なくなっている。

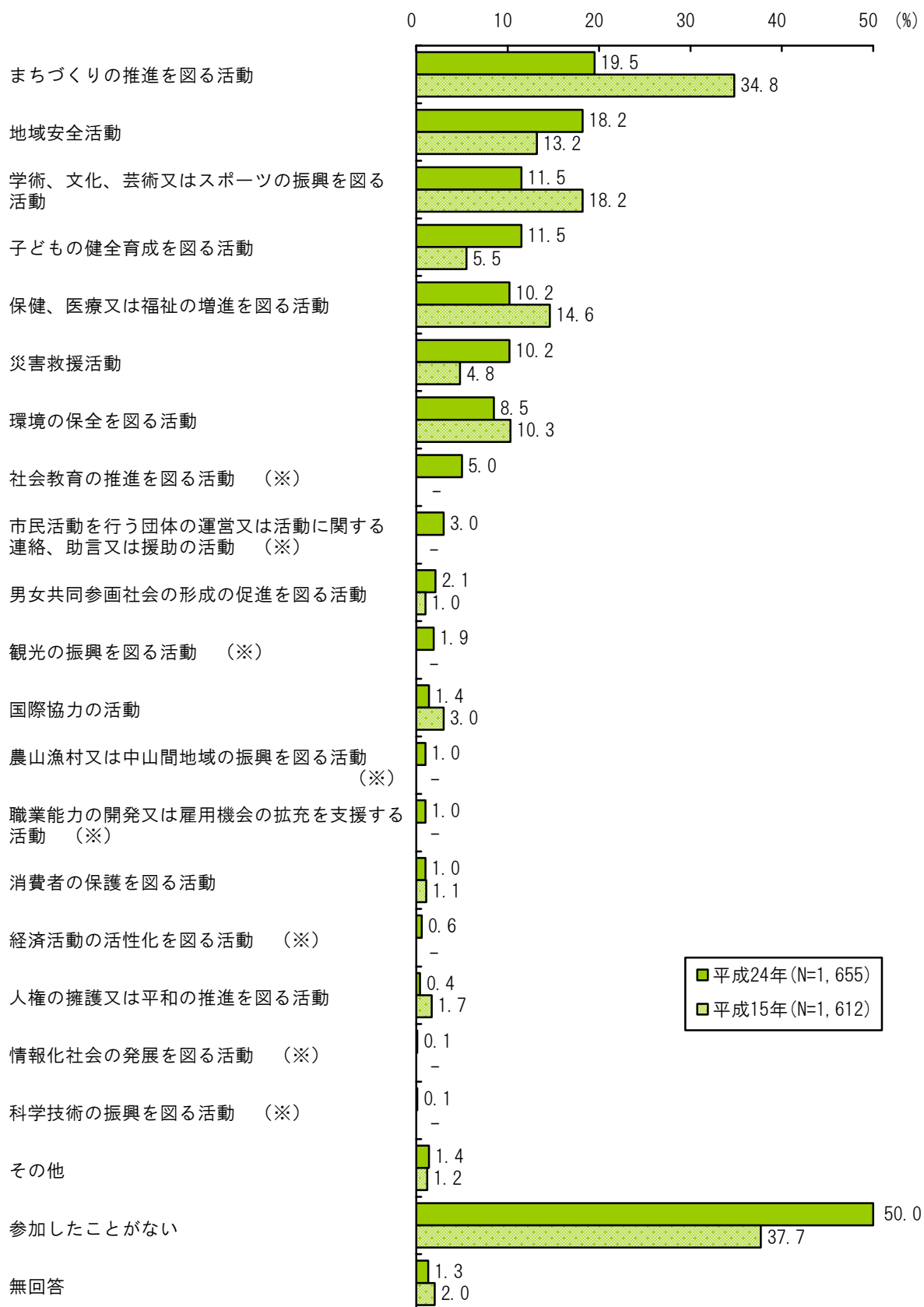
IV 調査結果

【性別・年代別】



＜調査結果の経年比較＞

平成15年の調査結果と比較すると、「まちづくりの推進を図る活動」が34.8%から19.5%へと、目立って減少している。

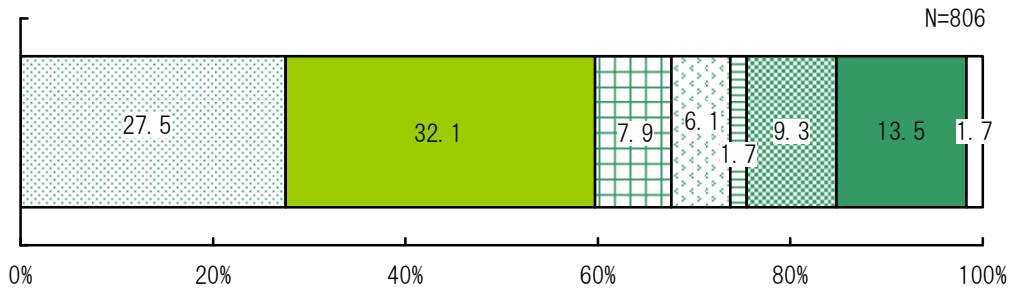


(※) は平成15年調査の選択肢に含まない。

IV 調査結果

(3) 市民活動参加の理由

問3 あなたが市民活動に参加した直接的な理由はどのようなものですか。次の中からあなたの気持ちに最も近いものを1つだけ選んでください。複数の経験をお持ちの人は主に活動したものについてお答えください。

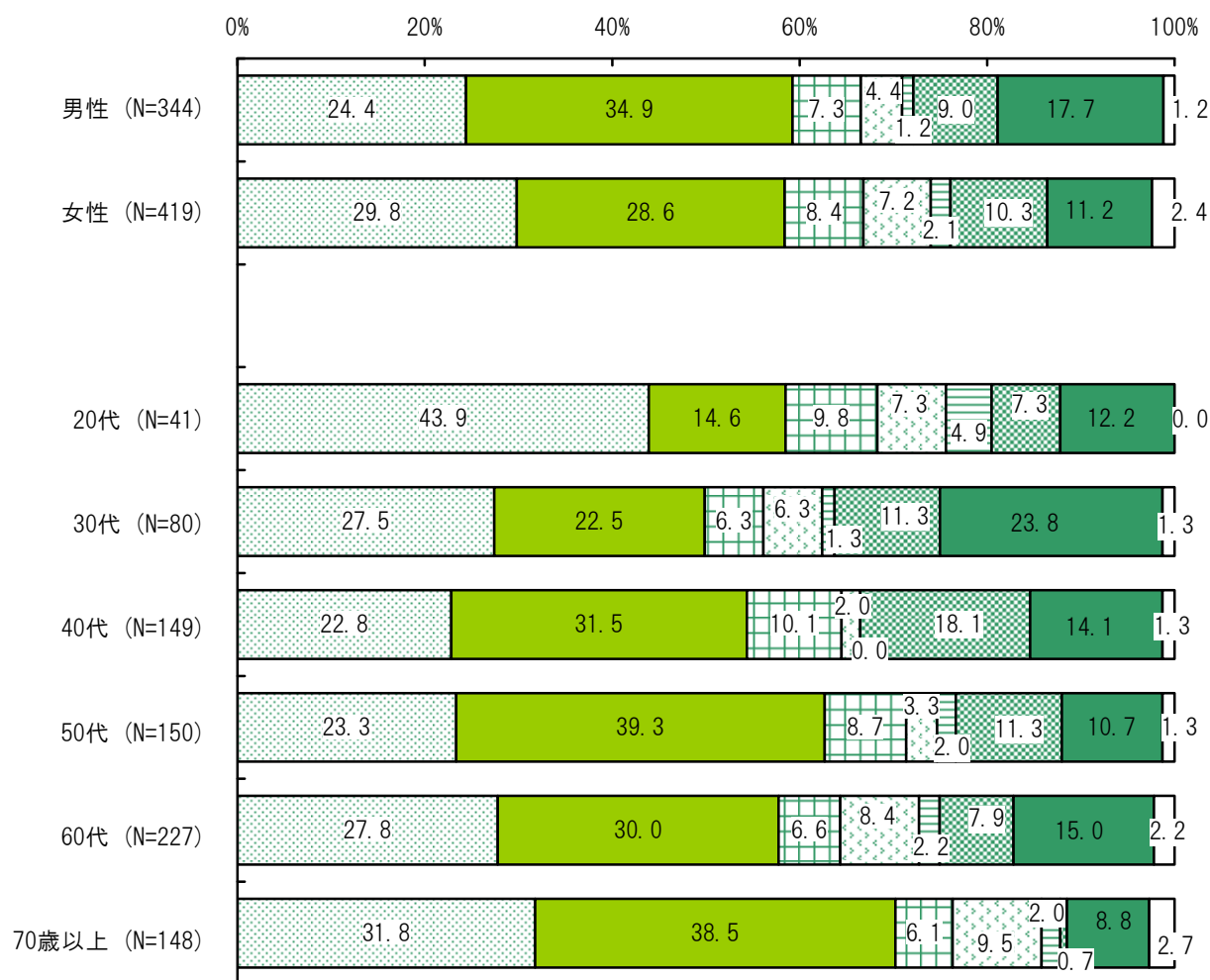


- 自分自身のためになると思ったから
- 社会や人のために何か役に立ちたかったから
- 自分の経験や知識・技能を生かしたかったから
- 余暇を有意義に過ごしたかったから
- 身近に問題が起きたから
- その他
- 特に理由はない
- 無回答

問2の質問で何らかの市民活動に『参加したことがある』と答えた人に、参加した理由を尋ねたところ、「社会や人のために何か役に立ちたかったから」が32.1%と最も高く、次いで「自分自身のためになると思ったから」が27.5%と、これらの2項目で約6割を占めている。

年代別に見ると、20代で「社会や人のために何か役に立ちたかったから」が14.6%と他の年代に比べ低く、「自分自身のためになると思ったから」が43.9%と高くなっている。

【性別・年代別】



- 自分自身のためになると思ったから
- 社会や人のために何か役に立ちたかったから
- 自分の経験や知識・技能を生かしたかったから
- 余暇を有意義に過ごしたかったから
- 身近に問題が起きたから
- その他
- 特に理由はない
- 無回答

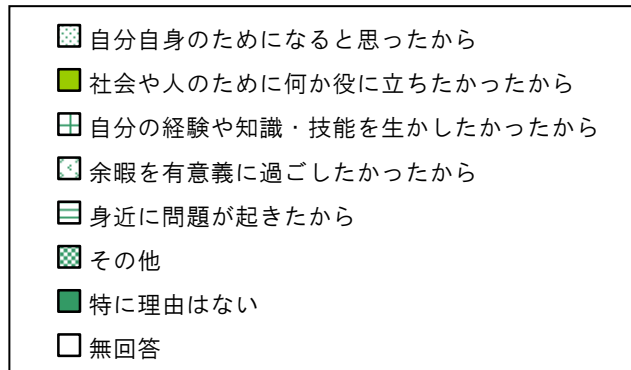
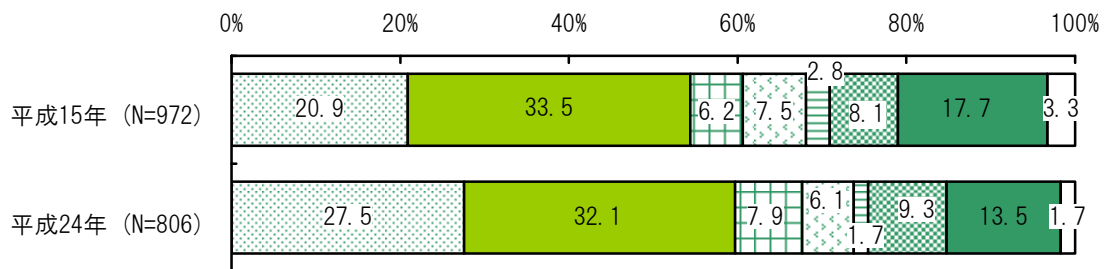
IV 調査結果

<調査結果の経年比較>

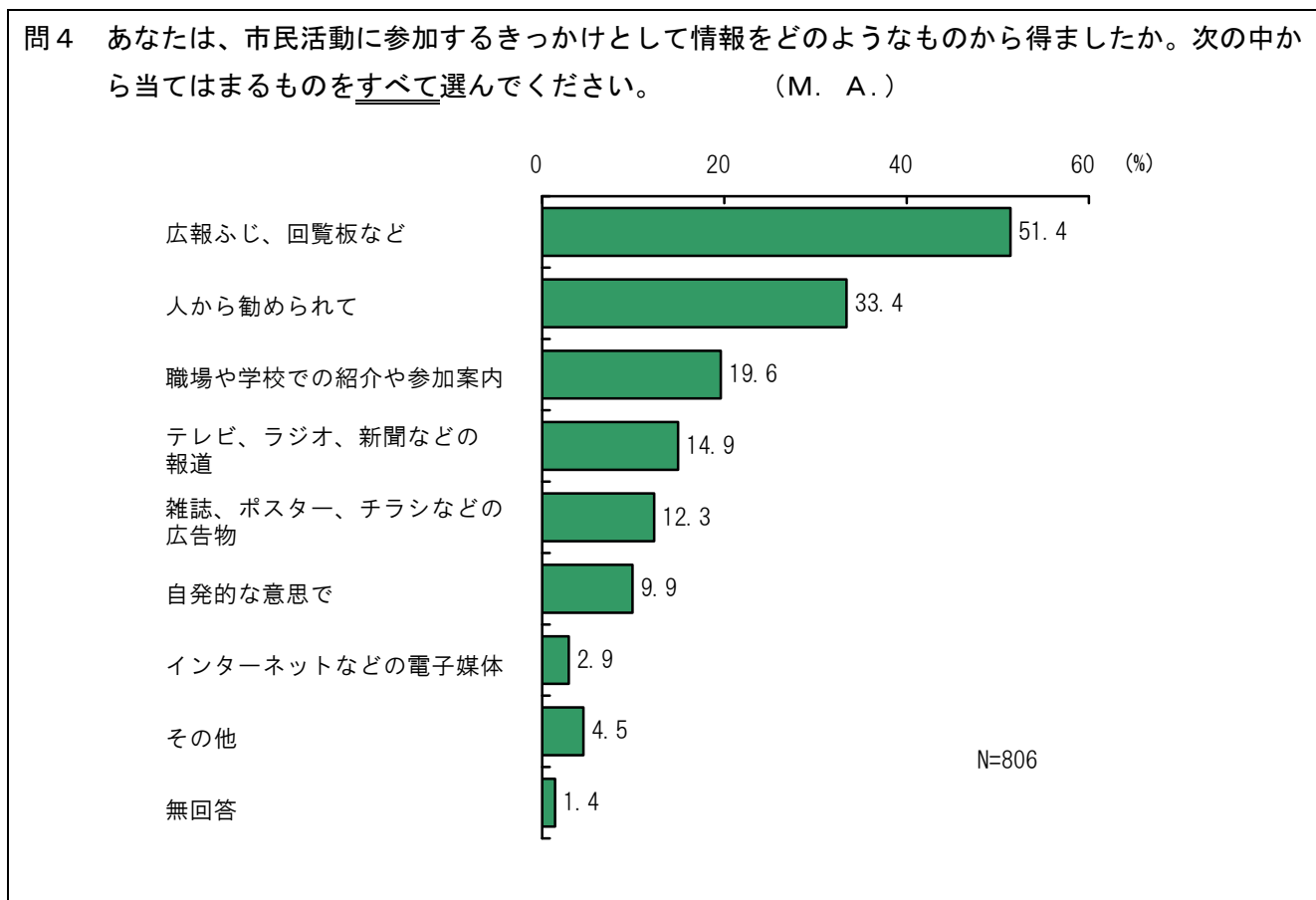
平成15年の調査結果と比較すると、「自分自身のためになると思ったから」が20.9%から27.5%へと、6.6ポイント増加している。

単位：%

	調査数（人）	自分自身のためになると 思ったから	社会や人のために何か役に 立ちたかったから	自分の経験や知識・技能 を生かしたかったから	余暇を有意義に過ごした かったから	身近に問題が起きたから	その他	特に理由はない	無回答
平成15年	972	20.9	33.5	6.2	7.5	2.8	8.1	17.7	3.3
平成24年	806	27.5	32.1	7.9	6.1	1.7	9.3	13.5	1.7



(4) 市民活動参加のきっかけ

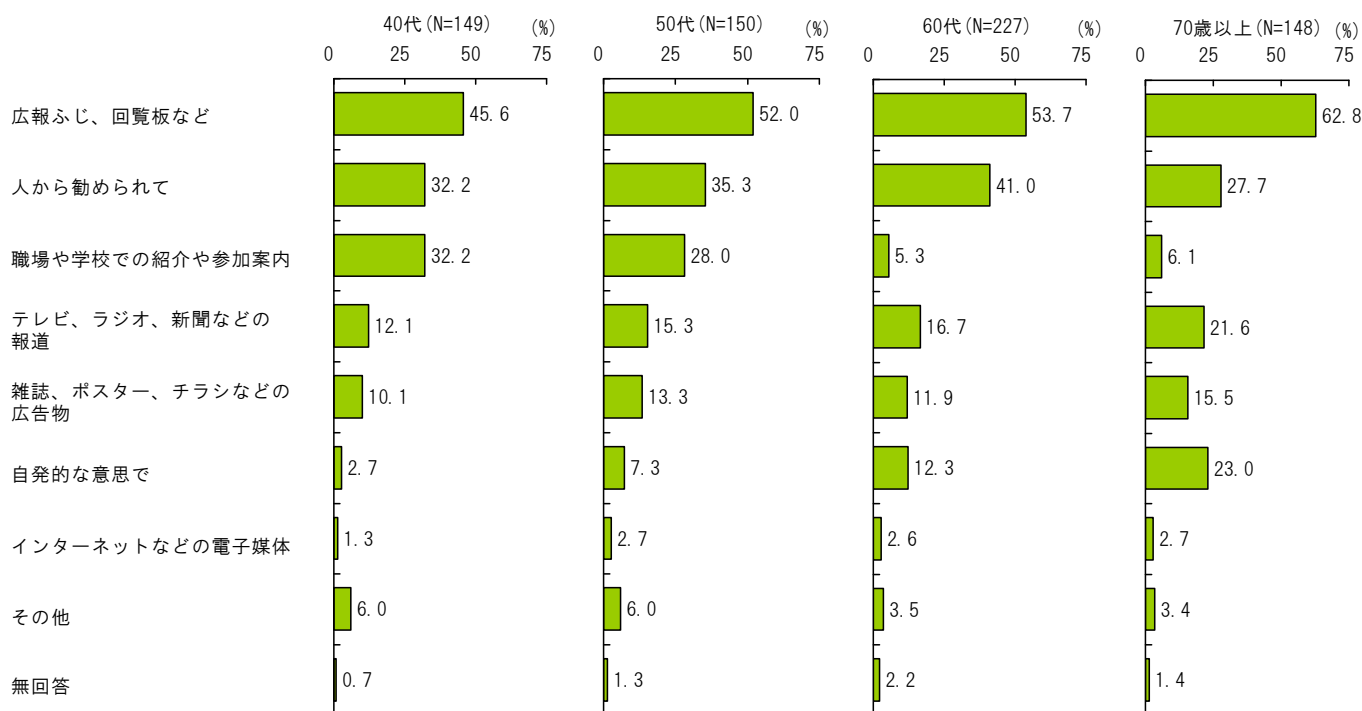
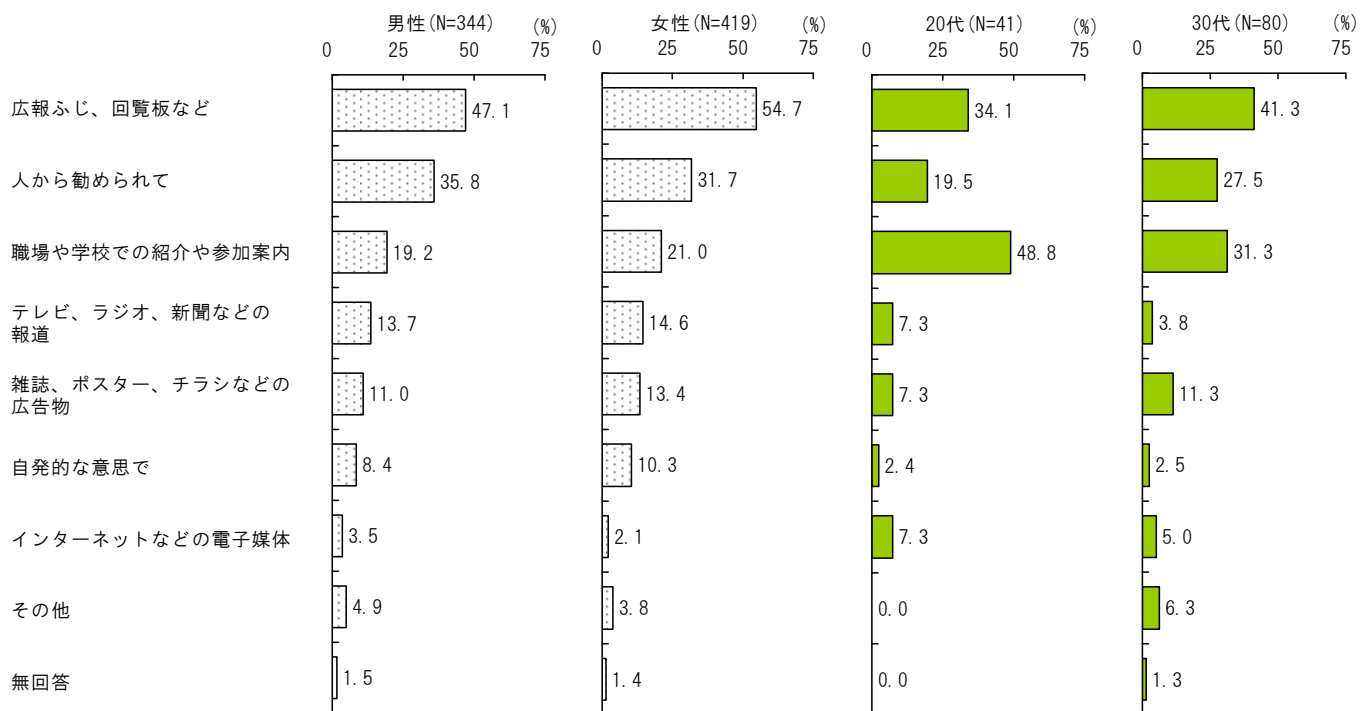


問2の質問で何らかの市民活動に『参加したことがある』と答えた人に、市民活動参加のきっかけとなった情報源を尋ねたところ、「広報ふじ、回覧板など」が51.4%と半数を超え最も高く、次いで「人から勧められて」が33.4%、「職場や学校での紹介や参加案内」が19.6%となっている。

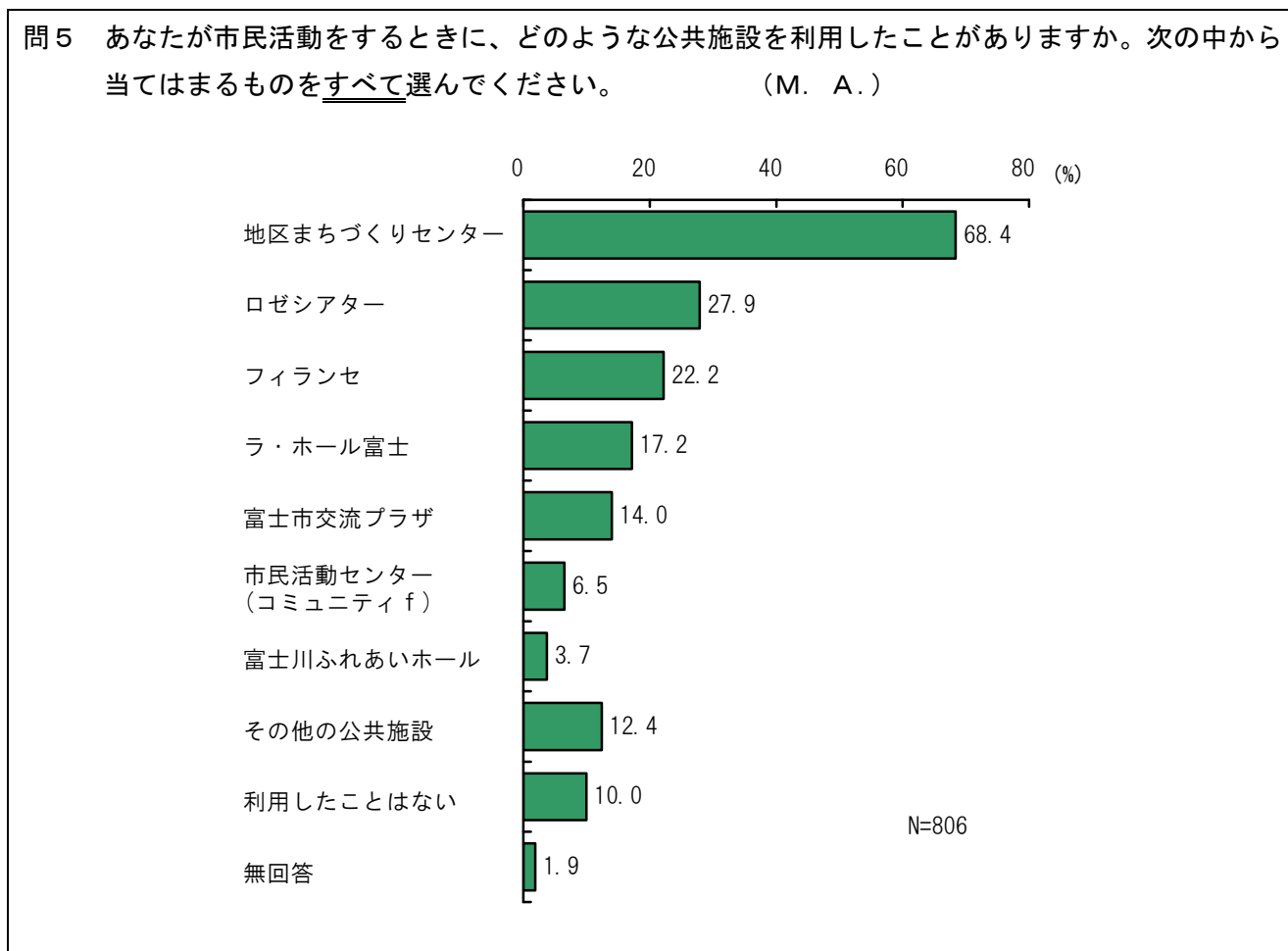
年代別に見ると、20代で「職場や学校での紹介や参加案内」が48.8%と他の年代に比べ高く、70歳以上で「広報ふじ、回覧板など」が62.8%と高くなっている。

IV 調査結果

【性別・年代別】



(5) 市民活動場所としての公共施設

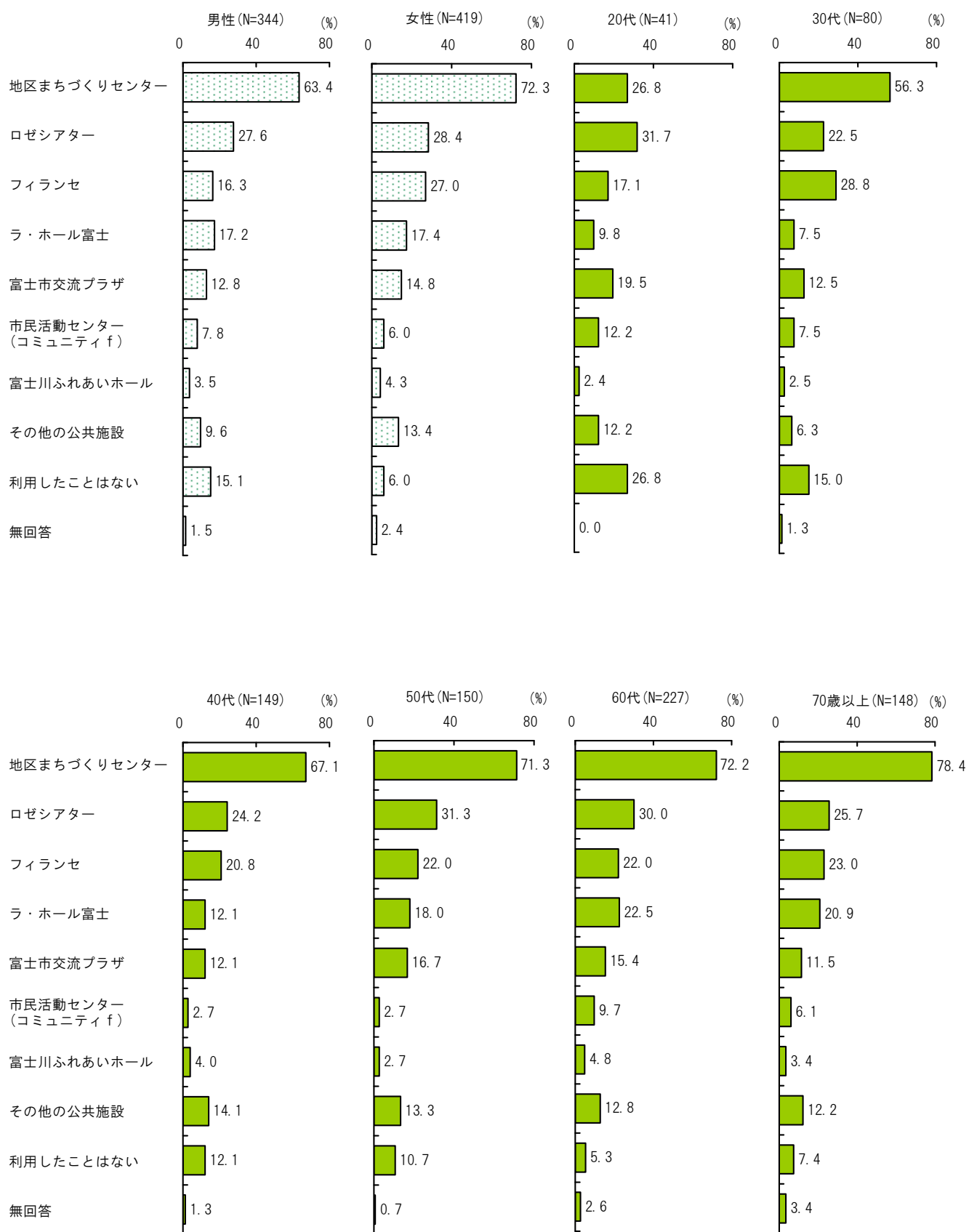


問2の質問で何らかの活動に『参加したことがある』と答えた人に、市民活動場所として利用した公共施設を尋ねたところ、「地区まちづくりセンター」が68.4%と、目立って高くなっている。次いで「ロゼシアター」が27.9%、「フィランセ」が22.2%となっている。

性別に見ると、女性で「地区まちづくりセンター」が72.3%と、男性の63.4%を約9ポイント上回り、男性では「利用したことはない」が15.1%と、女性に比べ高くなっている。

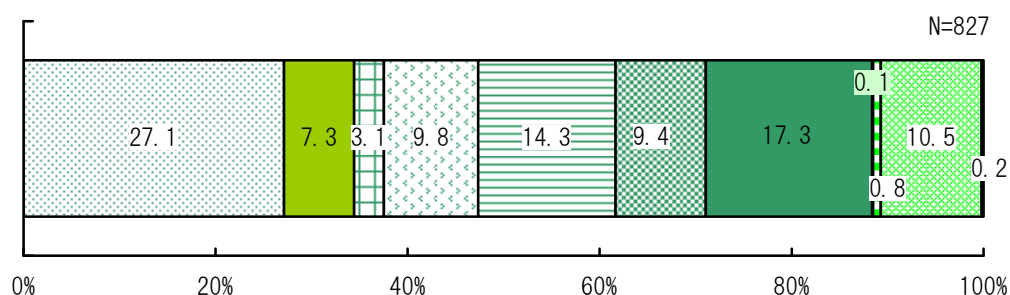
年代別に見ると、20代で「地区まちづくりセンター」が26.8%と他の年代に比べ低く、「利用したことはない」が26.8%と高くなっている。

IV 調査結果
【性別・年代別】



(6) 市民活動不参加の理由

問6 あなたが市民活動に参加しなかった主な理由は何ですか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。



- 忙しくて時間がなかったから
- 健康や体力に自信がなかったから
- 経済的に余裕がなかったから
- 参加するほどの知識や技術がなかったから
- きっかけがつかめなかったから
- 活動団体や活動に関する情報がなかったから
- 関心がなかったから
- 家族の理解や協力が得られなかったから
- その他
- 特にない
- 無回答

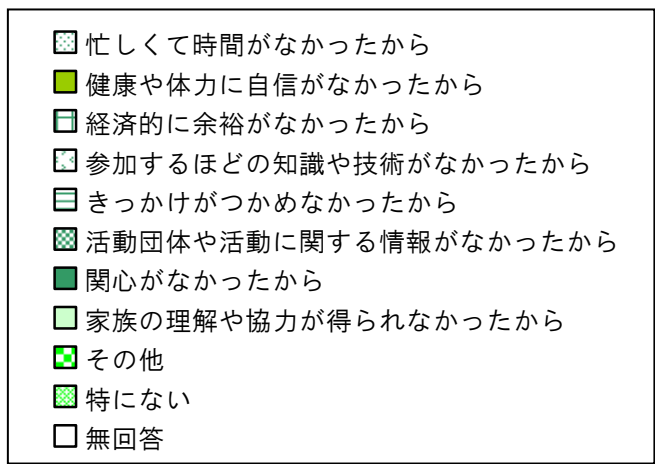
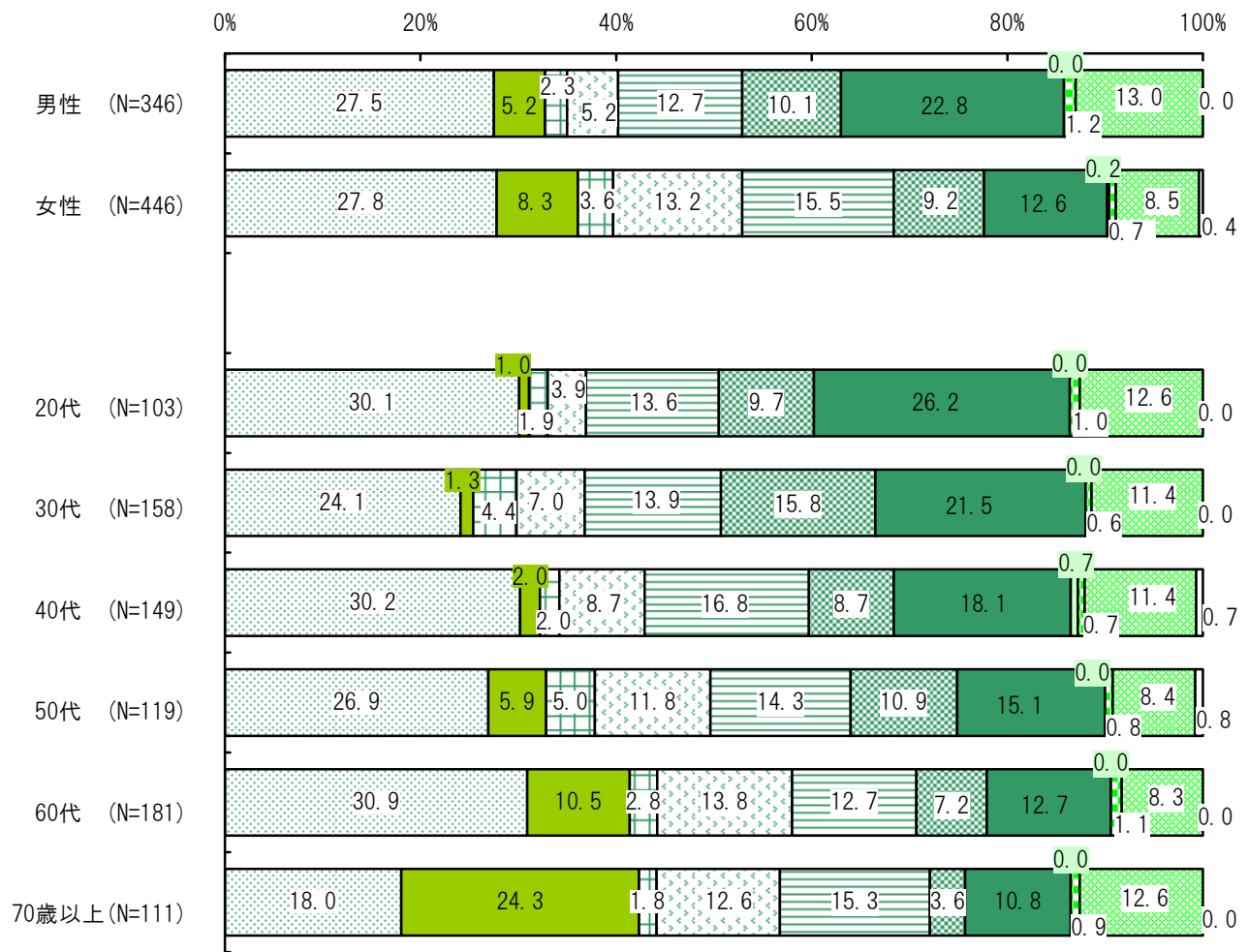
問2の質問で市民活動に「参加したことがない」と答えた人に、市民活動に参加しなかった理由を尋ねたところ、「忙しくて時間がなかったから」が27.1%と最も高く、次いで「関心がなかったから」が17.3%、「きっかけがつかめなかったから」が14.3%となっている。

性別に見ると、「関心がなかったから」が男性で22.8%と、女性の12.6%を約10ポイント上回っている。

年代別に見ると、70歳以上で「健康や体力に自信がなかったから」が24.3%と、他の年代に比べ目立って高くなっている。

IV 調査結果

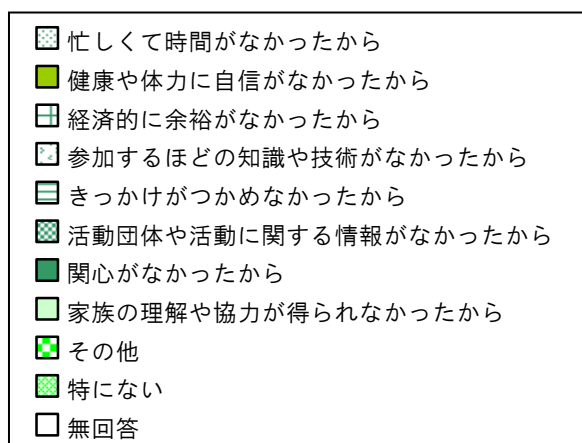
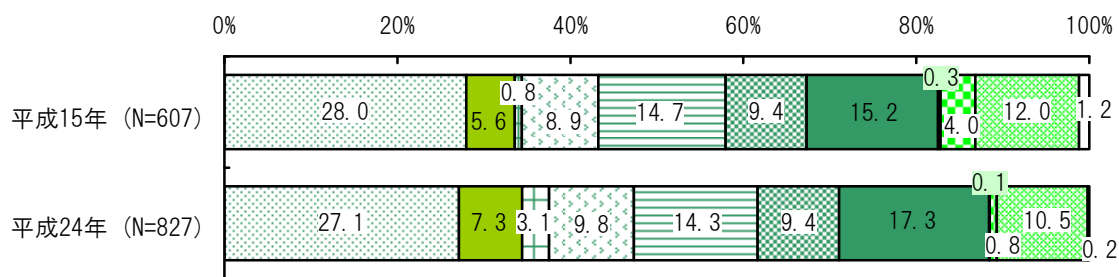
【性別・年代別】



<調査結果の経年比較>

単位：%

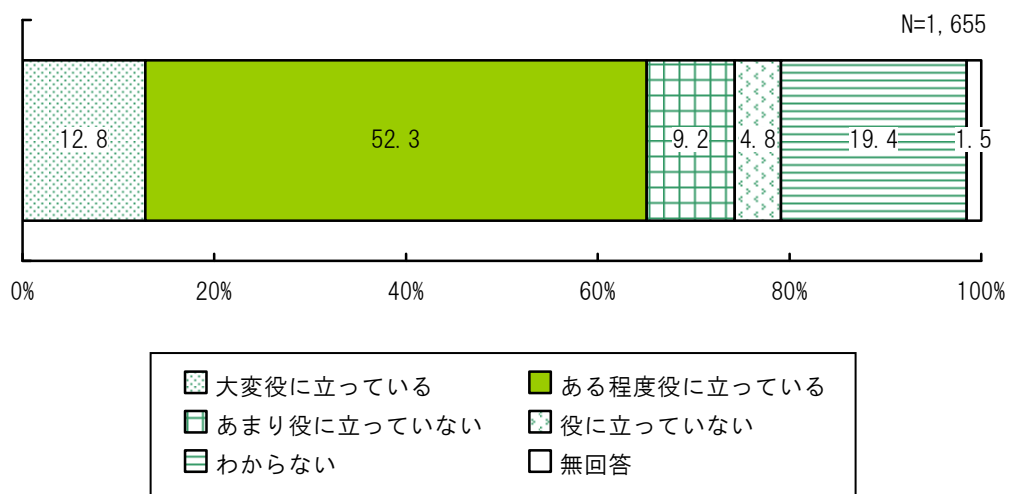
	調査数(人)	忙しくて時間がなかったから	健康や体力に自信がなかったから	経済的に余裕がなかったから	参加するほどの知識や技術がなかったから	きっかけがつかめなかったから	活動団体や活動に関する情報がなかったから	関心がなかったから	家族の理解や協力が得られなかったから	その他	特にない	無回答
平成15年	607	28.0	5.6	0.8	8.9	14.7	9.4	15.2	0.3	4.0	12.0	1.2
平成24年	827	27.1	7.3	3.1	9.8	14.3	9.4	17.3	0.1	0.8	10.5	0.2



IV 調査結果

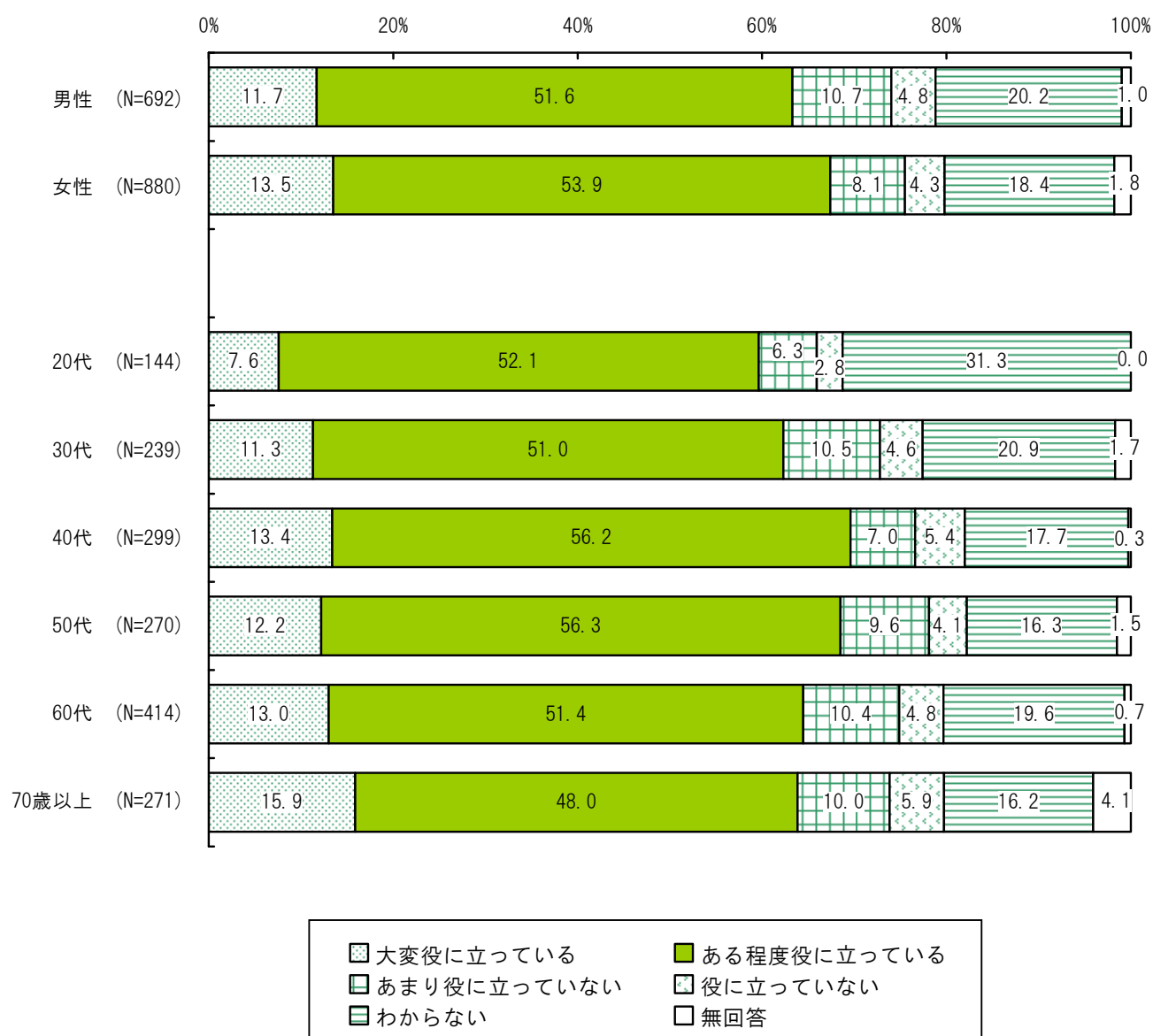
(7) 市民活動の役立ち度

問7 あなたは、市民活動が地域社会にどの程度役に立っていると思いますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。



市民活動が地域社会にどの程度役に立っていると思うかを尋ねたところ、「ある程度役に立っている」が52.3%と最も高く、次いで「大変役に立っている」が12.8%で、これらを合わせた『役に立っている』は65.1%となっている。『役に立っていない』（「あまり役に立っていない」＋「役に立っていない」）は14.0%となっている。

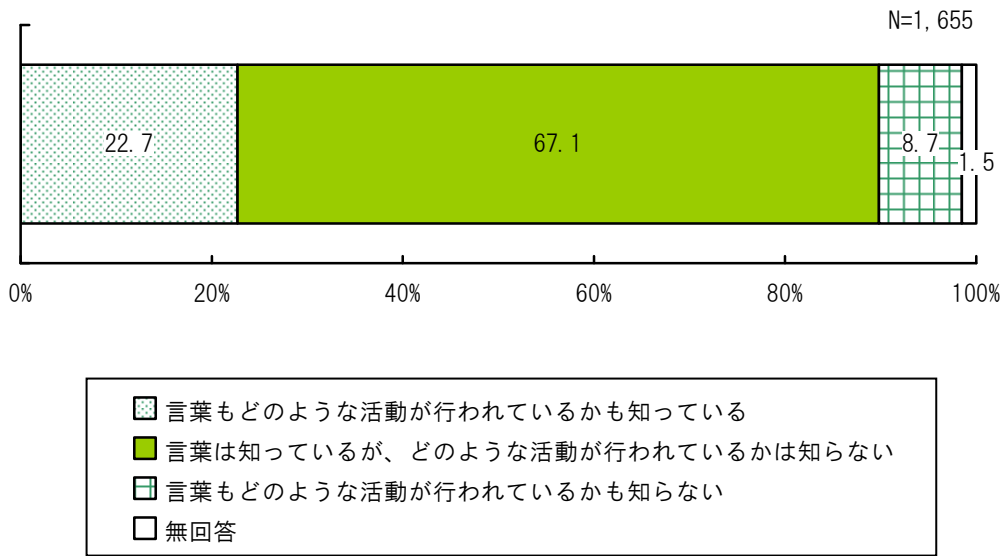
【性別・年代別】



IV 調査結果

(8) NPOの認知度

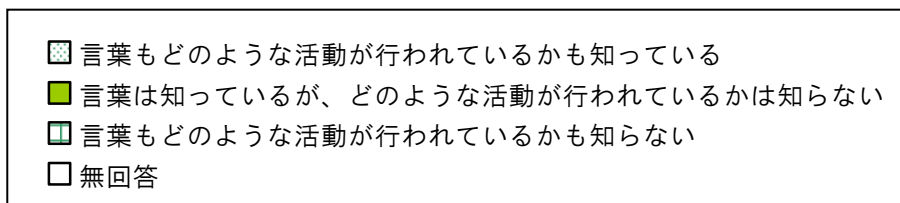
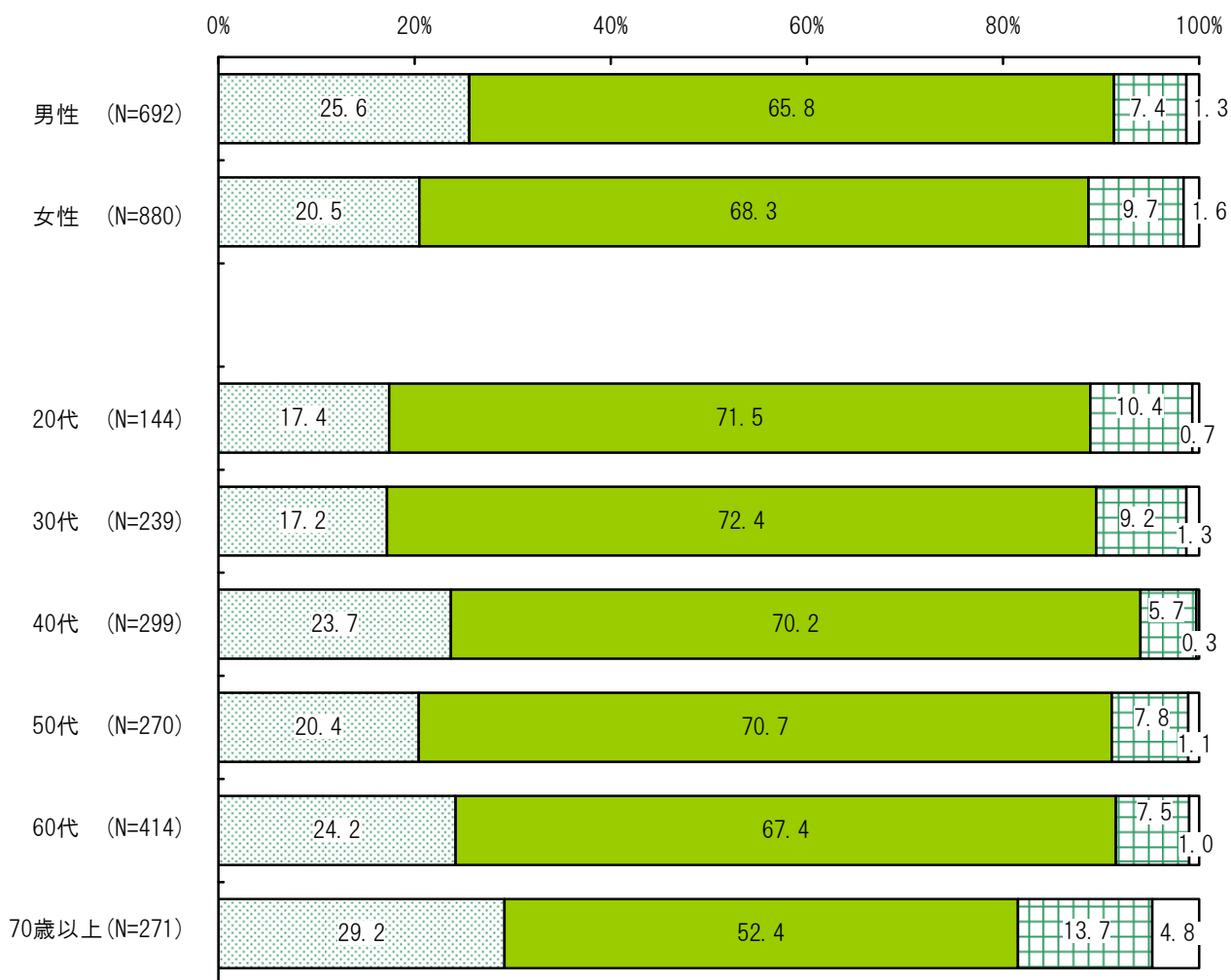
問8 あなたは、NPO(民間非営利組織)という言葉や実際にどのような活動が行われているかご存知ですか。当てはまるものを1つだけ選んでください。



NPO(民間非営利組織)の認知度を尋ねたところ、「言葉は知っているが、どのような活動が行われているかは知らない」が67.1%と最も高く、次いで「言葉もどのような活動が行われているかも知っている」が22.7%、「言葉もどのような活動が行われているかも知らない」が8.7%となっている。

年代別に見ると、70歳以上で「言葉もどのような活動が行われているかも知っている」が29.2%と他の年代に比べやや高いが、一方で「言葉もどのような活動が行われているかも知らない」も13.7%とやや高くなっている。

【性別・年代別】



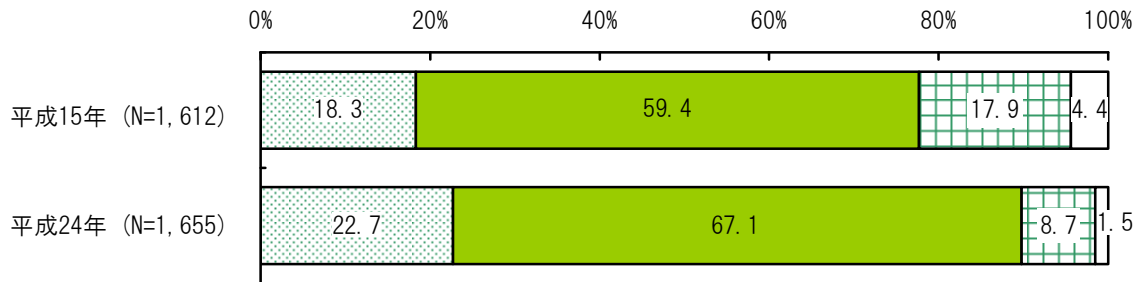
IV 調査結果

<調査結果の経年比較>

平成15年の調査結果と比較すると、「言葉もどのような活動が行われているかも知らない」が17.9%から8.7%と、9.2ポイント減少している。

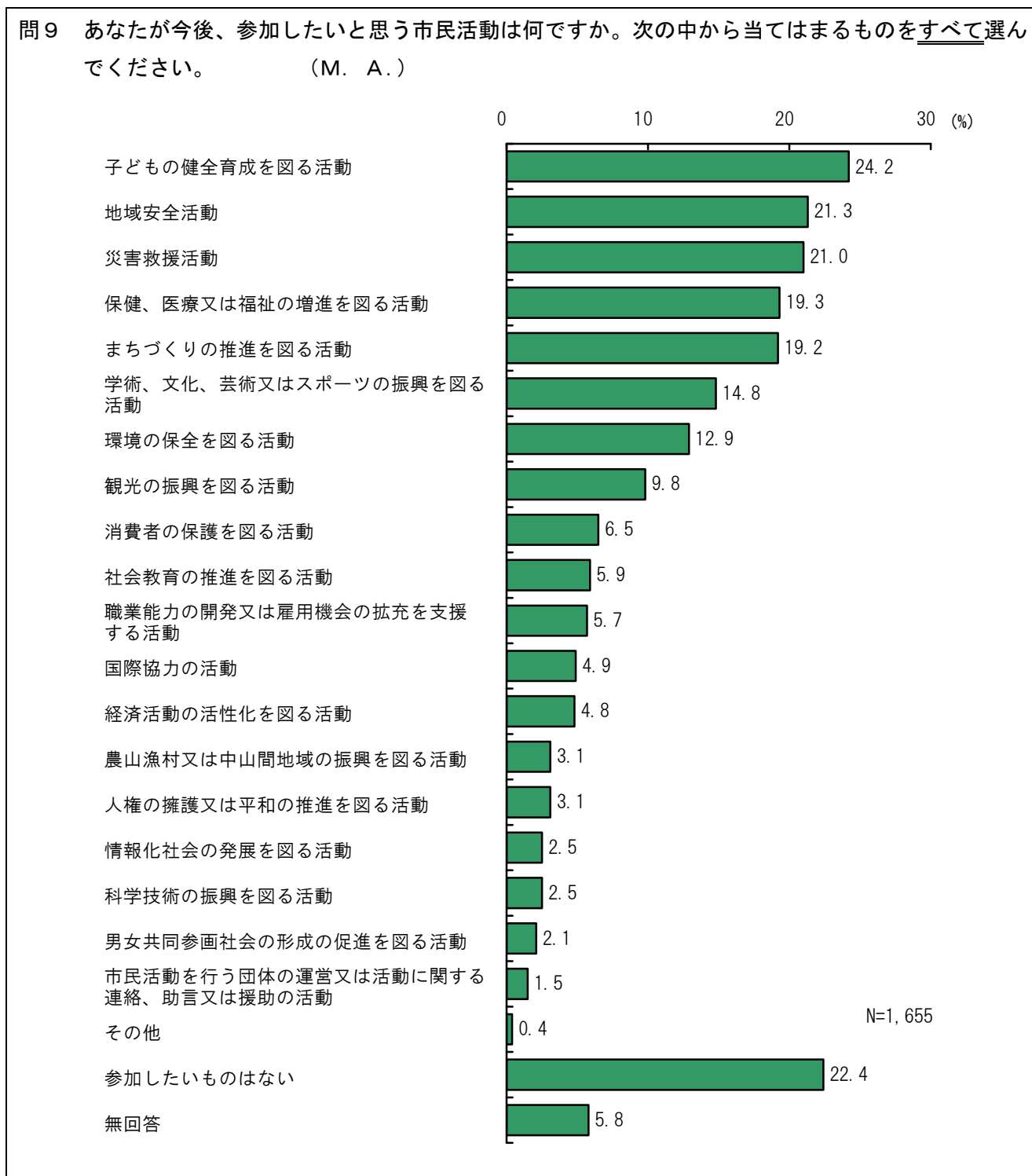
単位：%

	調査数（人）	言葉もどのような活動が行われているかも知っている	言葉は知っているが、どのような活動が行われているかは知らない	言葉もどのような活動が行われているかも知らない	無回答
平成15年	1,612	18.3	59.4	17.9	4.4
平成24年	1,655	22.7	67.1	8.7	1.5



- 言葉もどのような活動が行われているかも知っている
- 言葉は知っているが、どのような活動が行われているかは知らない
- 言葉もどのような活動が行われているかも知らない
- 無回答

(9) 参加したい市民活動



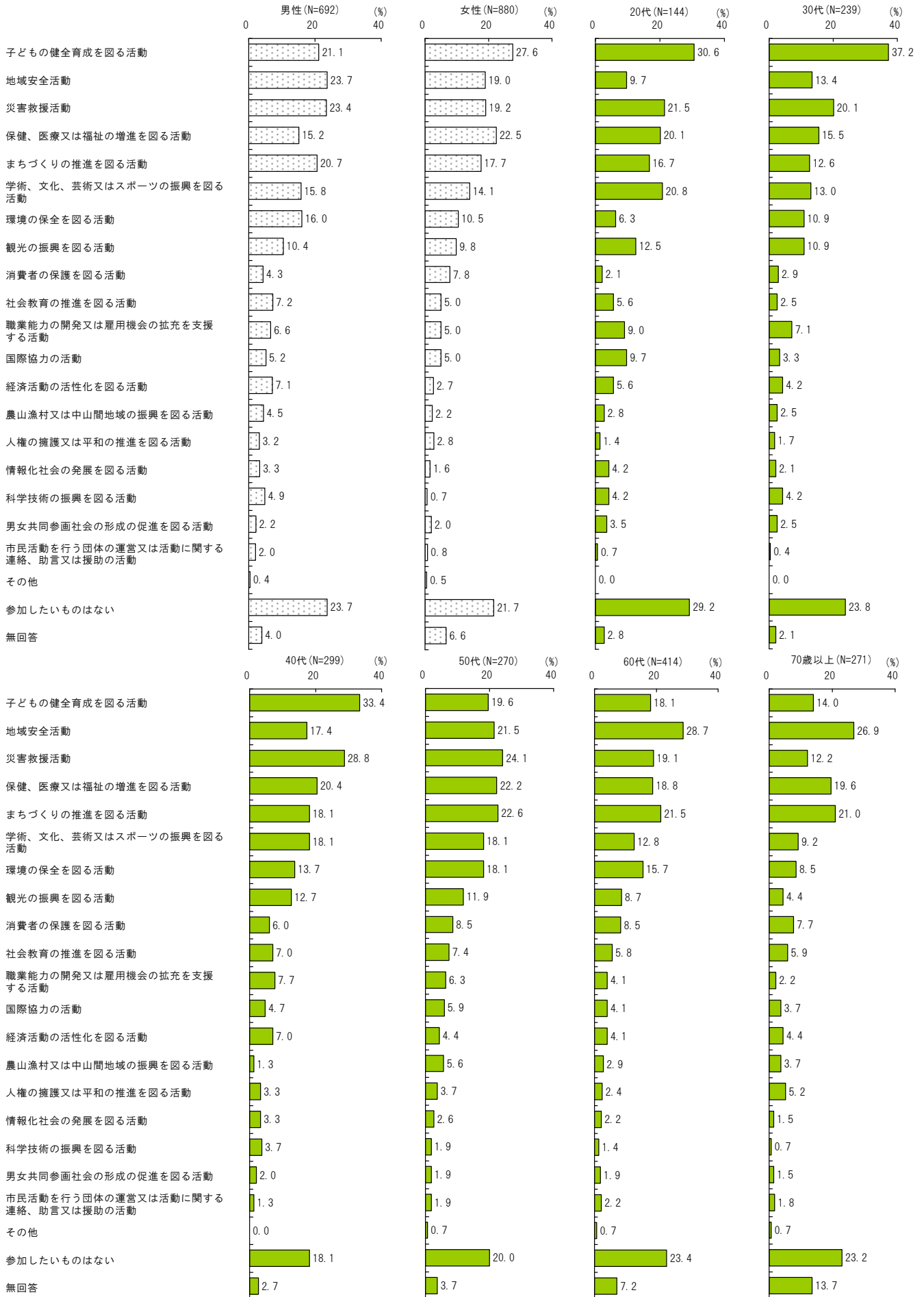
今後参加したいと思う市民活動を尋ねたところ、「子どもの健全育成を図る活動」が24.2%と最も高く、次いで「地域安全活動」が21.3%、「災害救援活動」が21.0%となっている。

性別に見ると、女性で「子どもの健全育成を図る活動」が27.6%、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」が22.5%と、それぞれ男性をやや上回っている。

年代別に見ると、20代～40代で「子どもの健全育成を図る活動」がそれぞれ3割を超えて高く、「地域安全活動」、「まちづくりの推進を図る活動」がそれぞれ2割に満たず低くなっている。また、70歳以上で「災害救援活動」が12.2%と、他の年代に比べやや低くなっている。

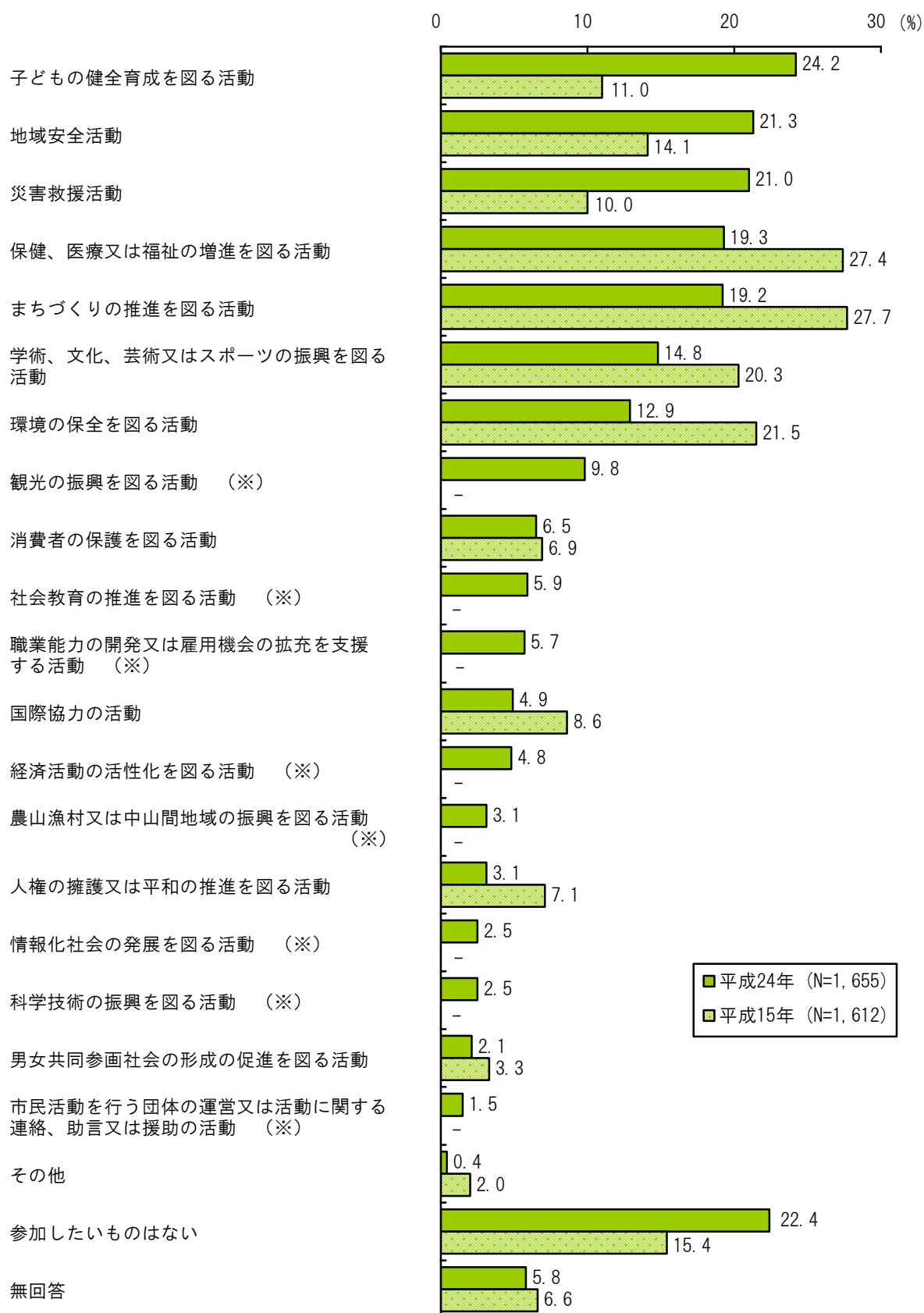
IV 調査結果

【性別・年代別】



＜調査結果の経年比較＞

平成15年の調査結果と比較すると、「子どもの健全育成を図る活動」、「災害救援活動」がそれぞれ10ポイント以上増加している。一方、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」、「まちづくりの推進を図る活動」、「環境の保全を図る活動」がそれぞれ8ポイント以上減少している。

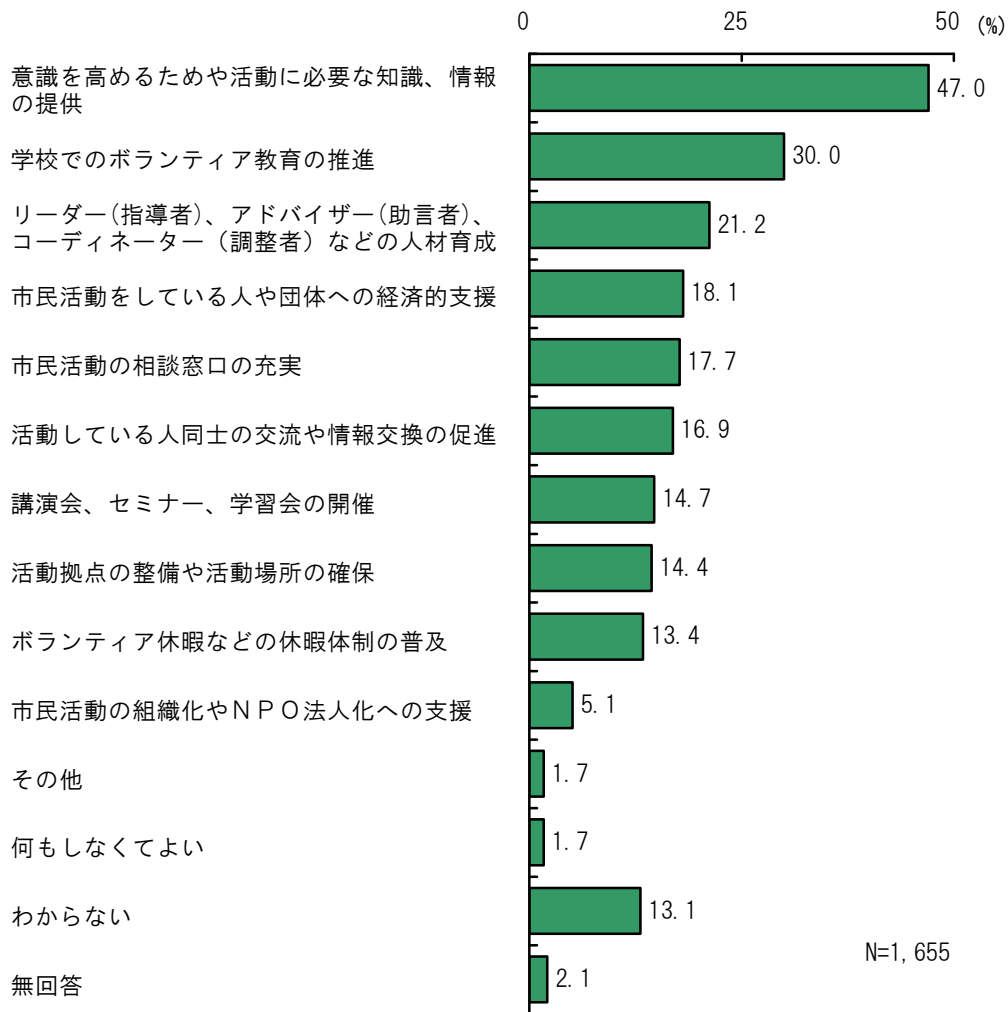


(※) は平成15年調査の選択肢に含まない。

IV 調査結果

(10) 市民活動が盛んになるための方策

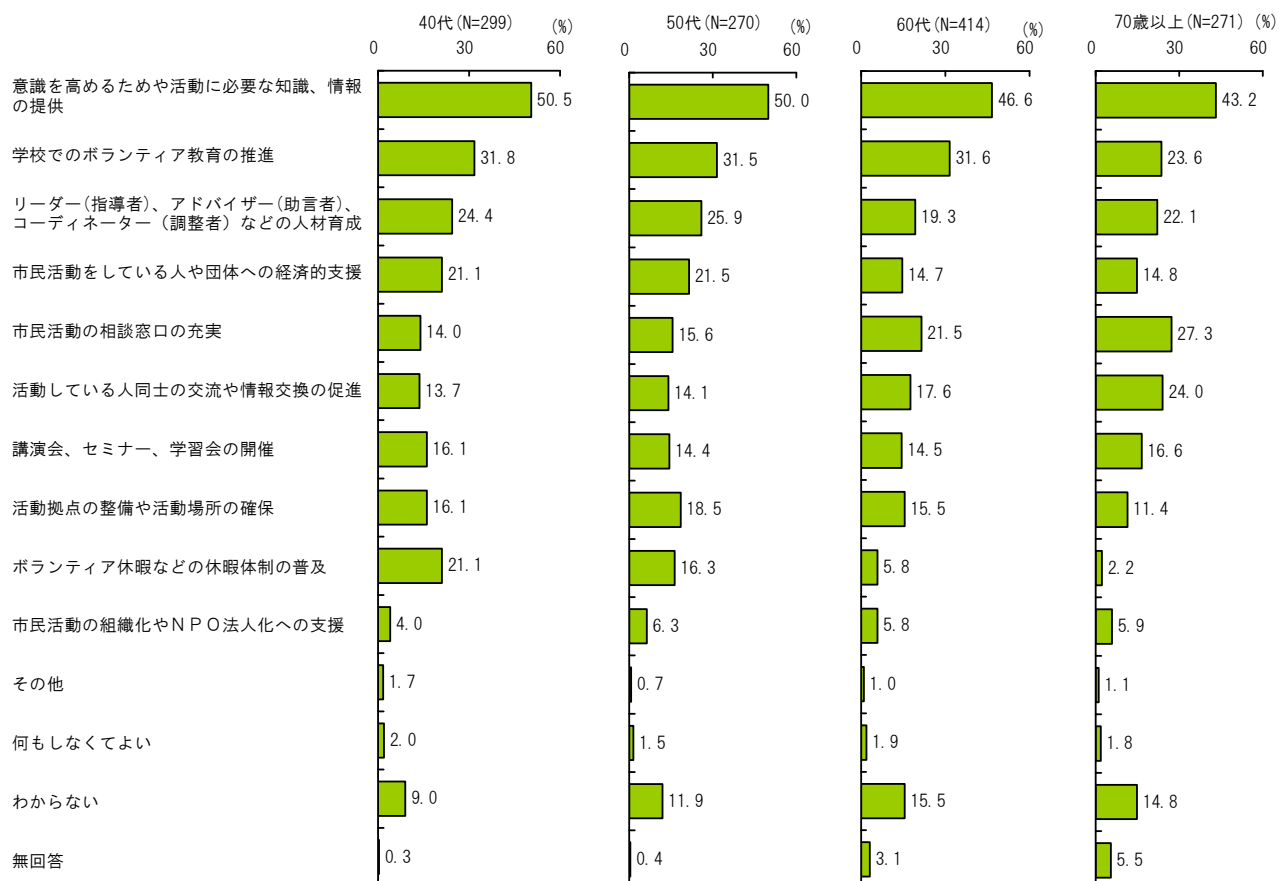
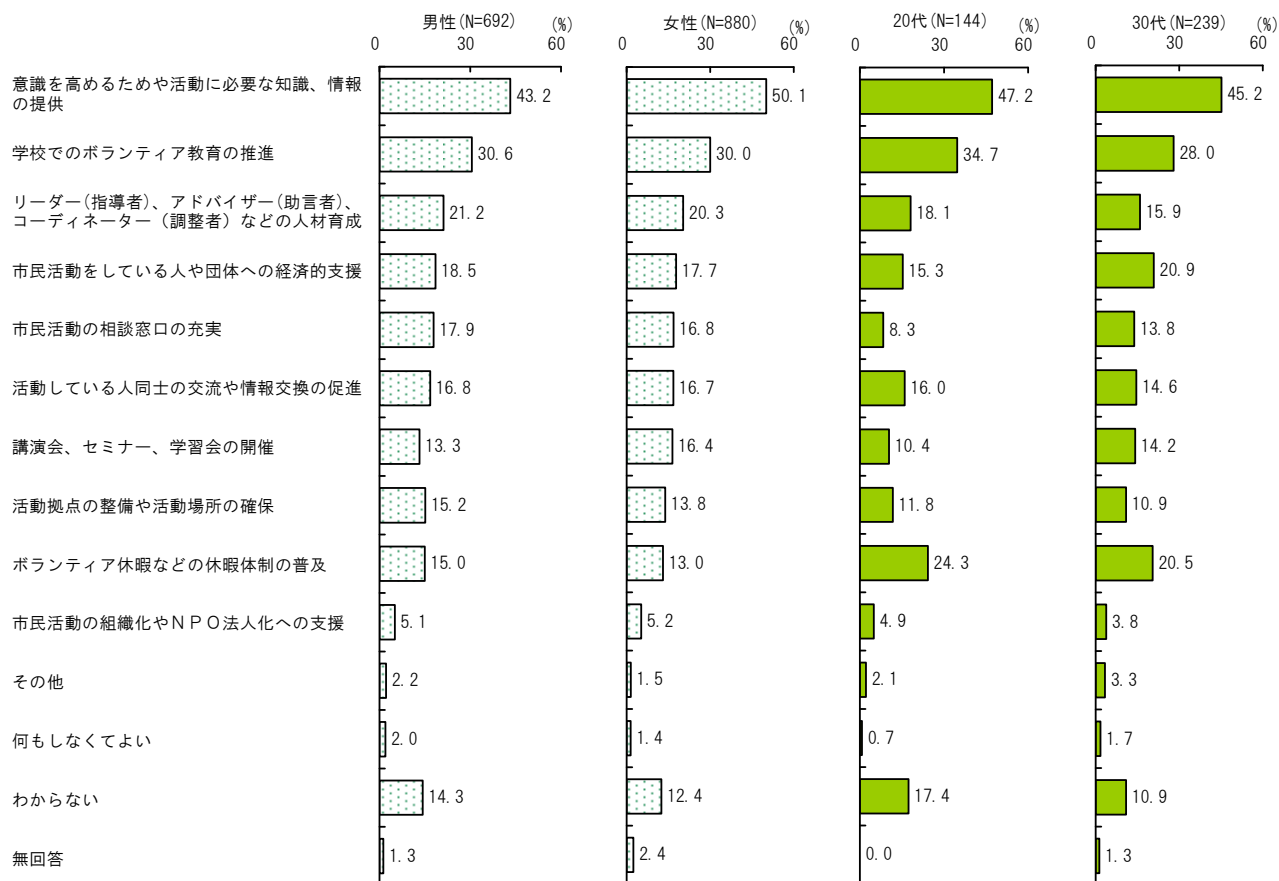
問10 あなたは今後、この地域で市民活動が盛んになるためには、どのような方策が必要だと思いますか。次の中から当てはまるものを3つ以内で選んでください。(M. A.)



市民活動が盛んになるために必要だと思う方策を尋ねたところ、「意識を高めるためや活動に必要な知識、情報の提供」が47.0%と最も高く、次いで「学校でのボランティア教育の推進」が30.0%、「リーダー(指導者)、アドバイザー(助言者)、コーディネーター(調整者)などの人材育成」が21.2%となっている。

年代別に見ると、70歳以上で「市民活動の相談窓口の充実」が27.3%、「活動している人同士の交流や情報交換の促進」が24.0%と、他の年代に比べやや高くなっている。また、20代～40代で「ボランティア休暇などの休暇体制の普及」がそれぞれ2割を超えて高く、60代以上では一桁台でわずかとなっている。

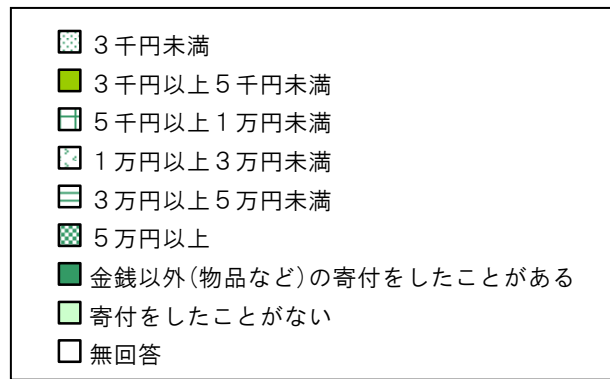
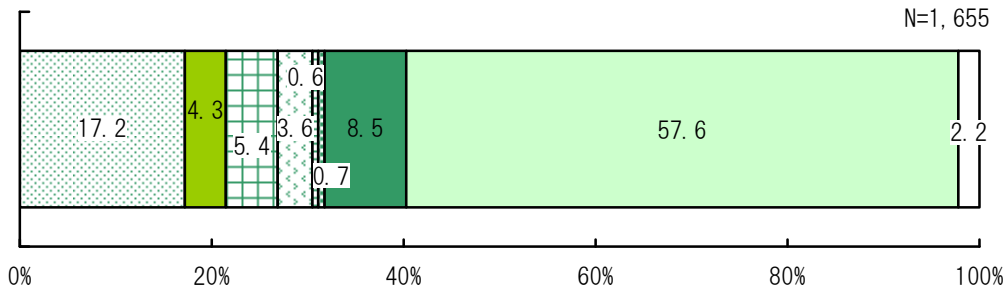
【性別・年代別】



IV 調査結果

(11) 市民活動団体への支援の有無

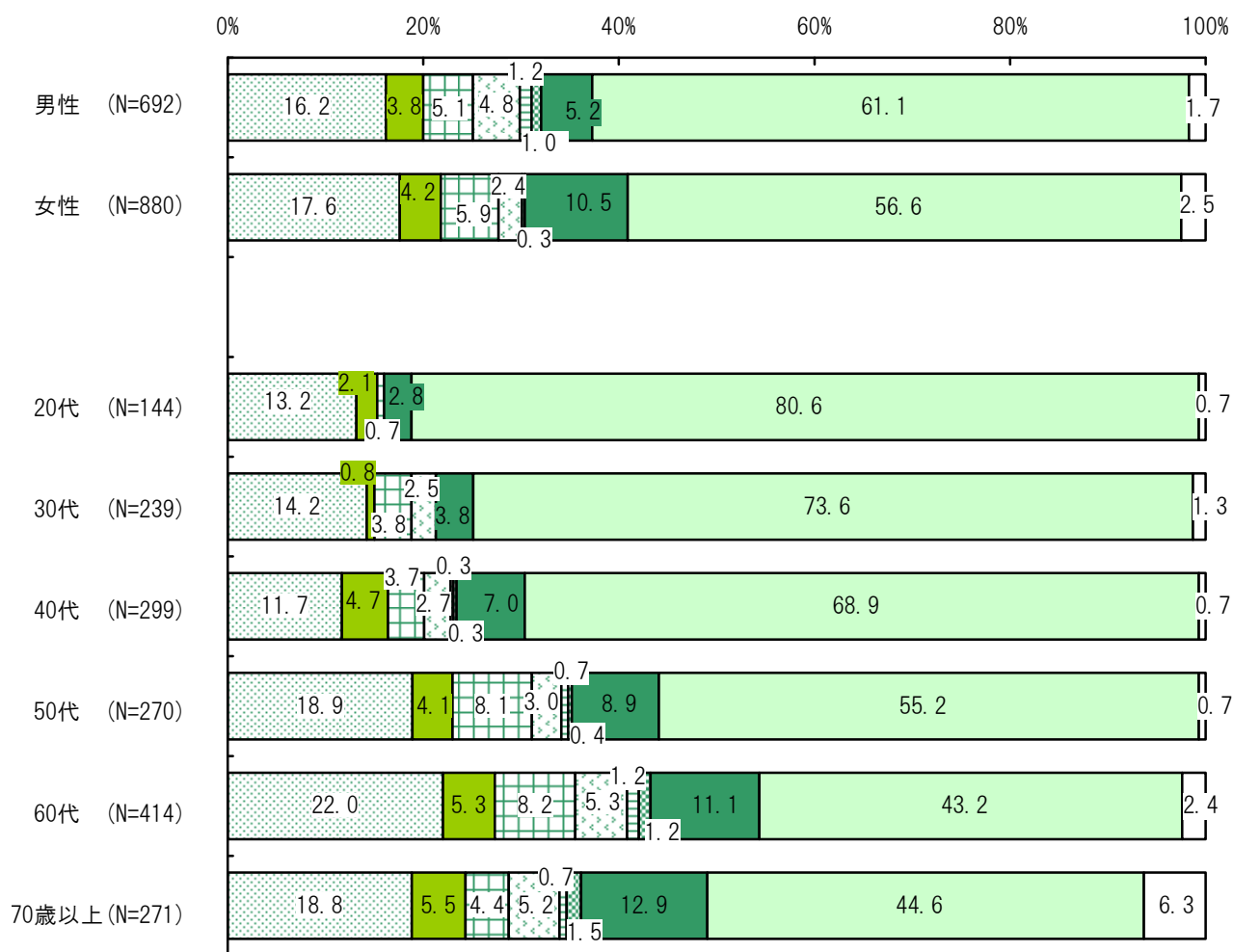
問11 あなたは、市民活動団体に会費以外に、寄付金などで支援したことがありますか。それは年間でいくらぐらいでしたか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。



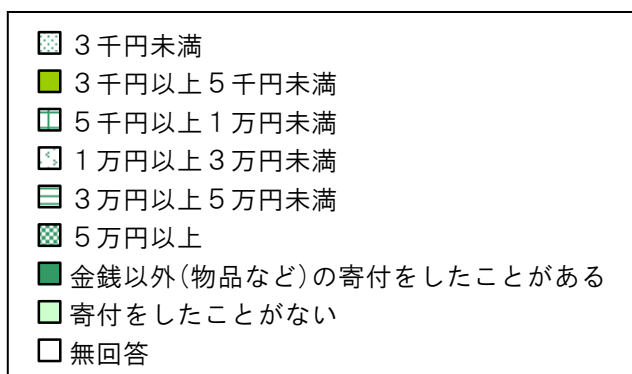
市民活動団体への支援の有無を尋ねたところ、金銭・物品含め『支援したことがある』は40.3%となっている。その内、「3千円未満」が17.2%と最も高く、次いで「金銭以外（物品など）の寄付をしたことがある」が8.5%、「5千円以上1万円未満」が5.4%となっている。

年代別に見ると、『支援したことがある』は20代で18.8%と他の年代に比べ低く、60代では54.3%と高くなっている。

【性別・年代別】



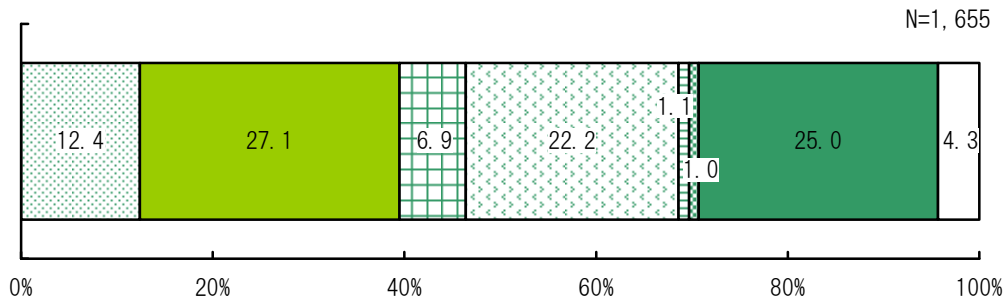
※0.0%は非表示とする。



IV 調査結果

(12) 市民活動のために支援できること

問12 市民活動団体にアンケートを行ったとき、活動資金や人材で悩んでいるとの回答が多くありました。あなたが支援できると思うことは、何ですか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。

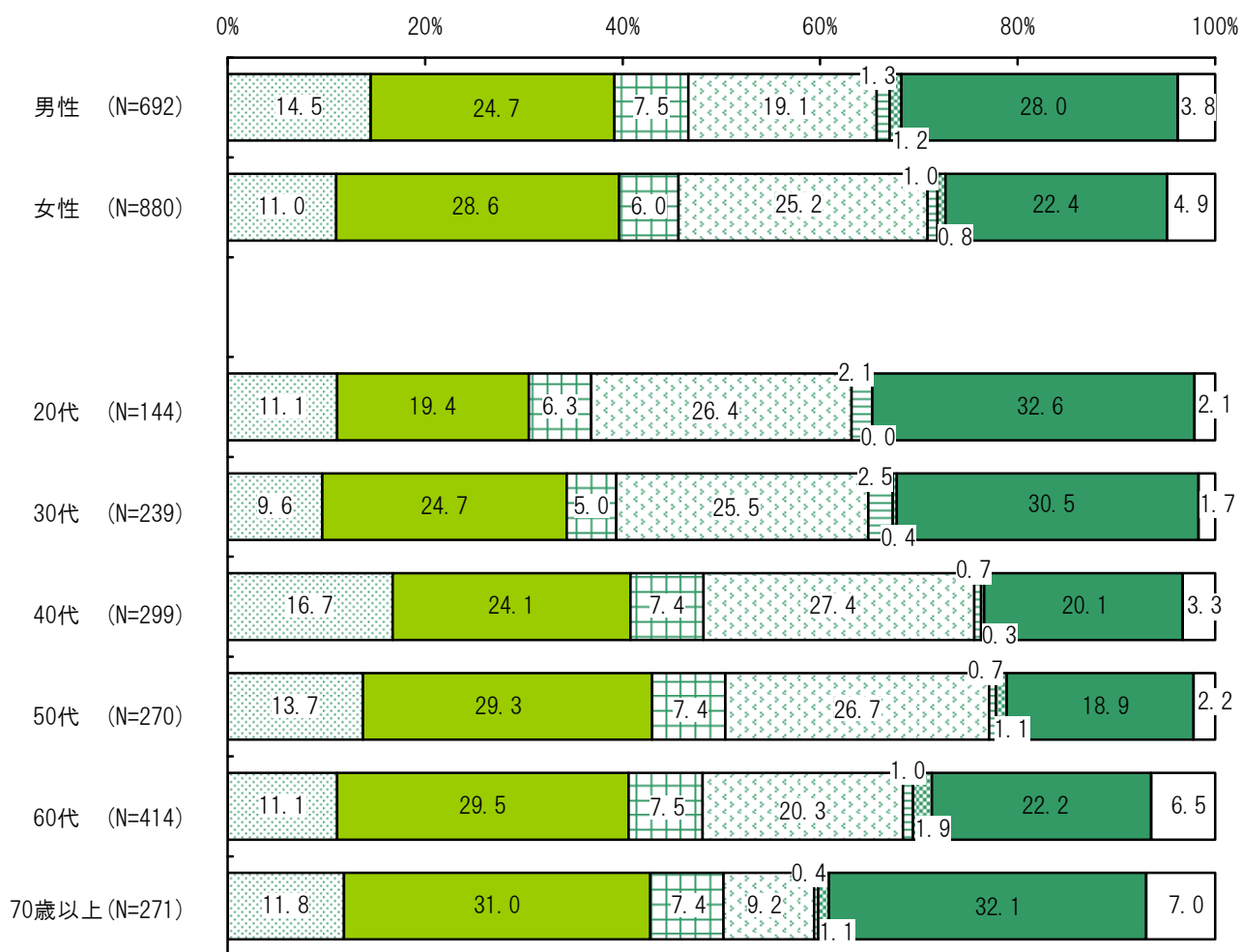


- 参加費や賛助金などによる活動資金の支援
- 寄付金または物品による活動の支援
- 会員となって活動に参加する
- 事業が開催されるときにボランティアなどで参加する
- ホームページの作成や会計処理など、技術を生かして参加する
- その他
- できない、あるいはしない
- 無回答

市民活動のために資金や人材の面で支援できることを尋ねたところ、「寄付金または物品による活動の支援」が27.1%と最も高く、次いで「事業が開催されるときにボランティアなどで参加する」が22.2%、「参加費や賛助金などによる活動資金の支援」が12.4%となっている。

年代別に見ると、70歳以上で「事業が開催されるときにボランティアなどで参加する」が9.2%と、他の年代に比べ目立って低くなっている。

【性別・年代別】

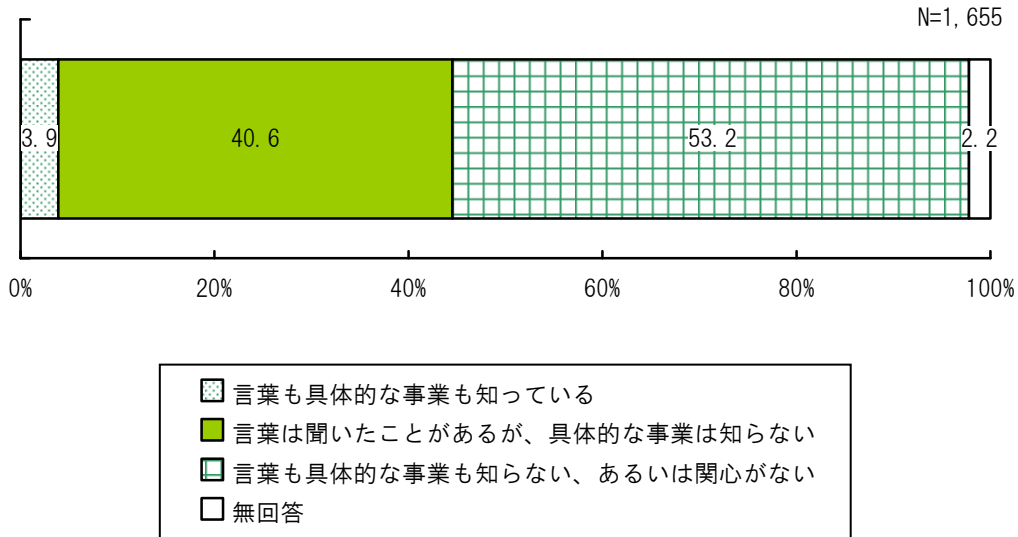


- 参加費や賛助金などによる活動資金の支援
- 寄付金または物品による活動の支援
- 会員となって活動に参加する
- 事業が開催されるときにボランティアなどで参加する
- ホームページの作成や会計処理など、技術を生かして参加する
- その他
- できない、あるいはしない
- 無回答

IV 調査結果

(13) 「協働」の認知度

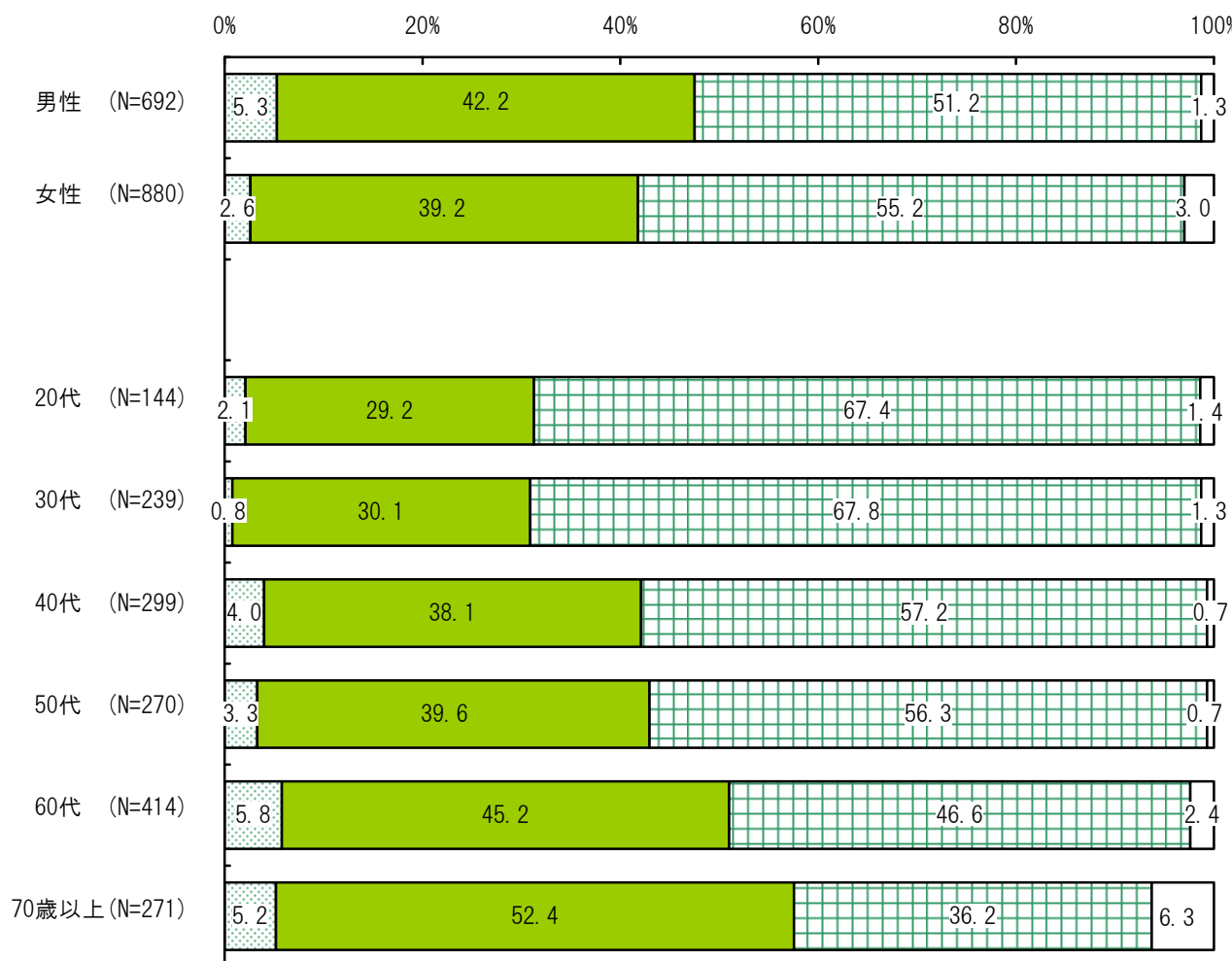
問13 近年では、市民活動団体や企業などと行政がお互いを尊重してそれぞれの特性を生かして行政サービスを分担して行う「協働」の推進が求められています。あなたは「協働」についてどの程度ご存じですか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。



「協働」の認知度を尋ねたところ、「言葉も具体的な事業も知らない、あるいは関心がない」が53.2%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、具体的な事業は知らない」が40.6%、「言葉も具体的な事業も知っている」は3.9%となっている。

年代別に見ると、20代および30代で「言葉も具体的な事業も知らない、あるいは関心がない」がそれぞれ7割近くと高くなっている。

【性別・年代別】

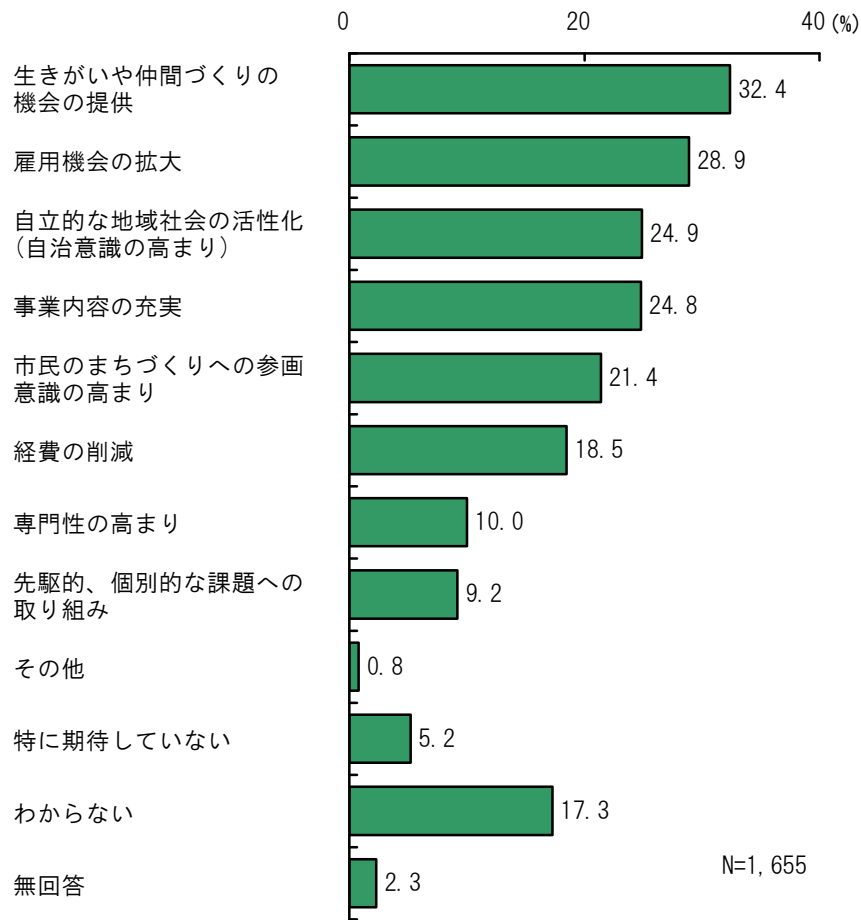


- 言葉も具体的な事業も知っている
- 言葉は聞いたことがあるが、具体的な事業は知らない
- 言葉も具体的な事業も知らない、あるいは関心がない
- 無回答

IV 調査結果

(14) 協働によるまちづくりへの期待

問14 あなたは、市民活動団体や企業と行政が協働でまちづくりをすることに、何を期待しますか。次の中から当てはまるものを3つ以内で選んでください。(M. A.)



協働によるまちづくりに期待することを尋ねたところ、「生きがいや仲間づくりの機会の提供」が32.4%と最も高く、次いで「雇用機会の拡大」が28.9%、「自立的な地域社会の活性化（自治意識の高まり）」が24.9%、「事業内容の充実」が24.8%となっている。

年代別に見ると、「生きがいや仲間づくりの機会の提供」が50代以上で3割を超え、特に70歳以上では39.5%と高くなっている。一方「雇用機会の拡大」は70歳以上で20.7%と、他の年代に比べやや低くなっている。

【性別・年代別】

